

6. メディア・コミュニケーションのこと

< 友だちとのコミュニケーション方法 >

問18	あなたにとって、友だちとコミュニケーション(気持ちや情報を伝えることなど)をとるとき、いちばん気持ちが楽な方法はどれですか。1つ選んでください。
-----	--

【全体集計結果】

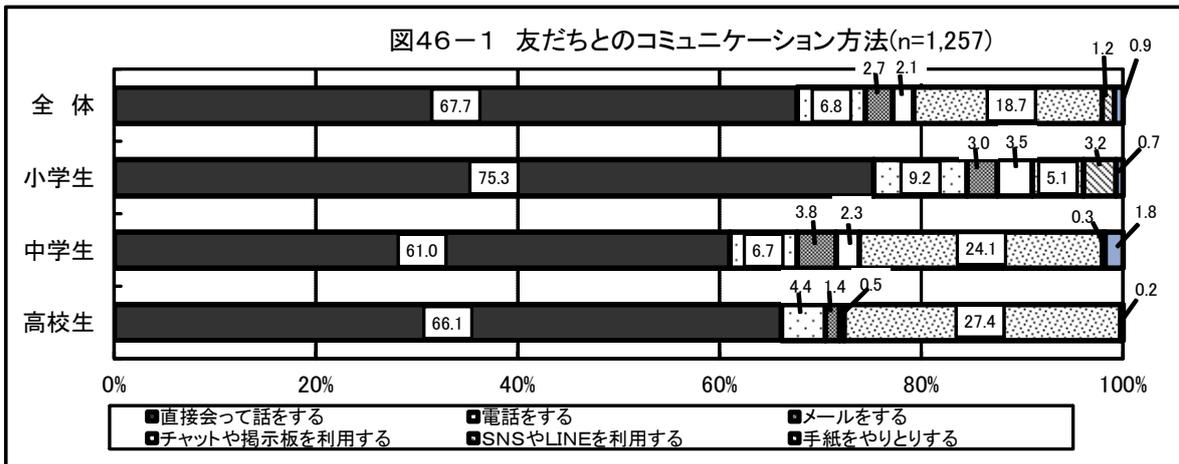
友だちとのコミュニケーション方法について尋ねたところ、「直接会って話をする」が67.7%で最も高く、以下、「SNSやLINEを利用する」(18.7%)、「電話をする」(6.8%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生では、「直接会って話をする」が75.3%で最も高く、以下、「電話をする」(9.2%)、「SNSやLINEを利用する」(5.1%)などとなっている。

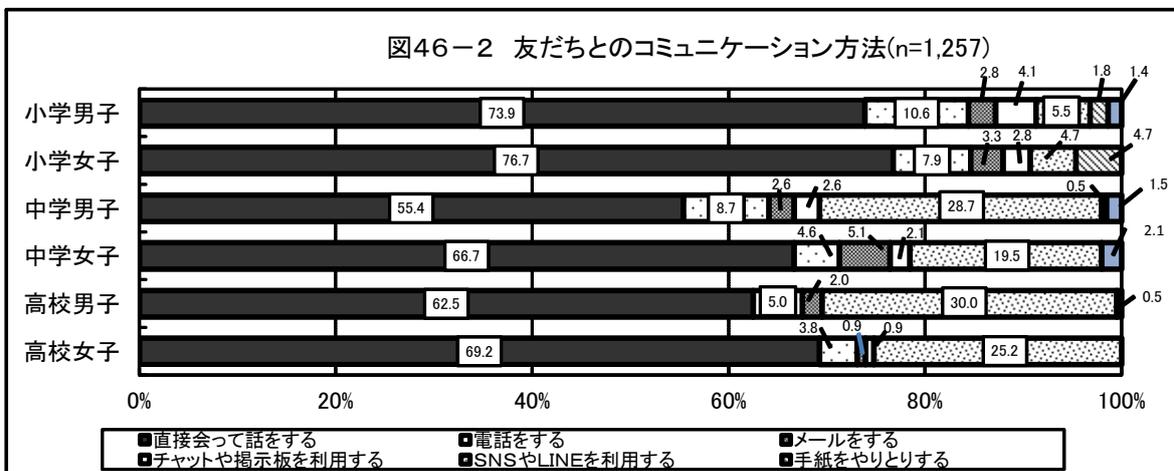
中学生では、「直接会って話をする」が61.0%で最も高く、以下、「SNSやLINEを利用する」(24.1%)、「電話をする」(6.7%)などとなっている。

高校生では、「直接会って話をする」が66.1%で最も高く、以下、「SNSやLINEを利用する」(27.4%)、「電話をする」(4.4%)などとなっている。



【属性別集計結果】

「SNSやLINEを利用する」を見てみると、高校男子が30.0%で最も高く、以下中学男子(28.7%)、高校女子(25.2%)となっている。



< 携帯電話・スマートフォンの所有状況 >

問19 携帯電話・スマートフォンについてお聞きします。

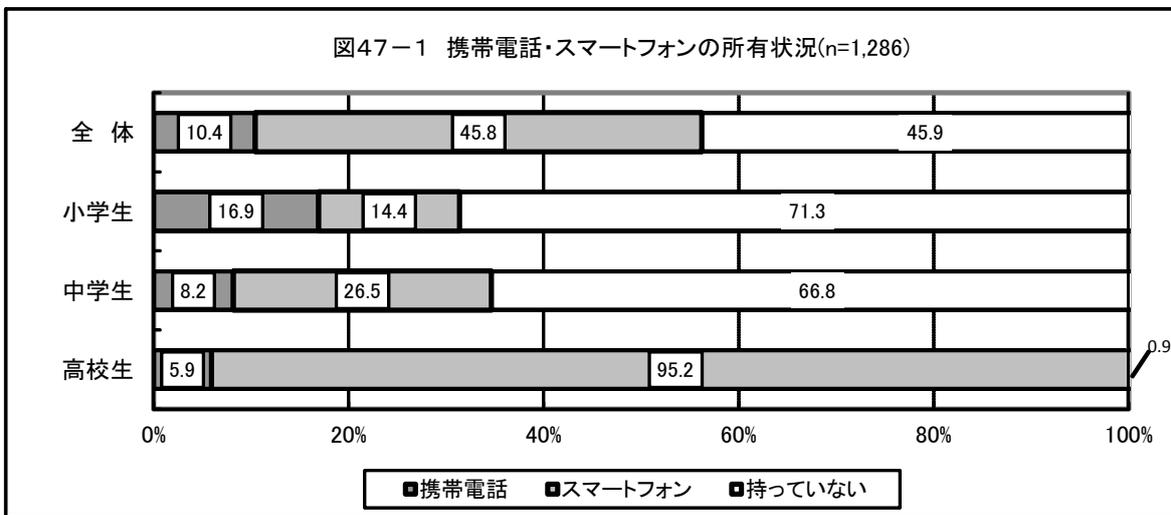
(1)	あなたが現在、自分専用で持っているものはありますか。(携帯電話、スマートフォンの両方を持っている人は、1と2の両方を選んでください。)
-----	---

【全体集計結果】

現在、自分専用で持っているものはどちらか(携帯電話・スマートフォン)を尋ねたところ、「携帯電話を持っている」が10.4%、「スマートフォンを持っている」が45.8%、「持っていない」が45.9%となっている。

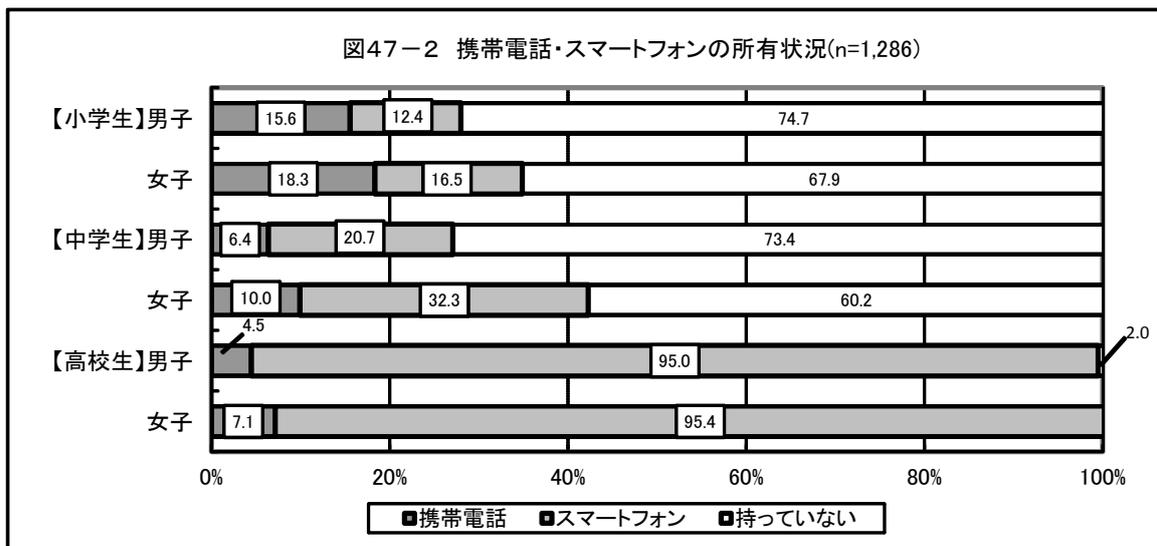
【学校種別集計結果】

スマートフォンの所有率が最も高いのは、高校生の95.2%で、以下、中学生(26.5%)、小学生(14.4%)となっている。



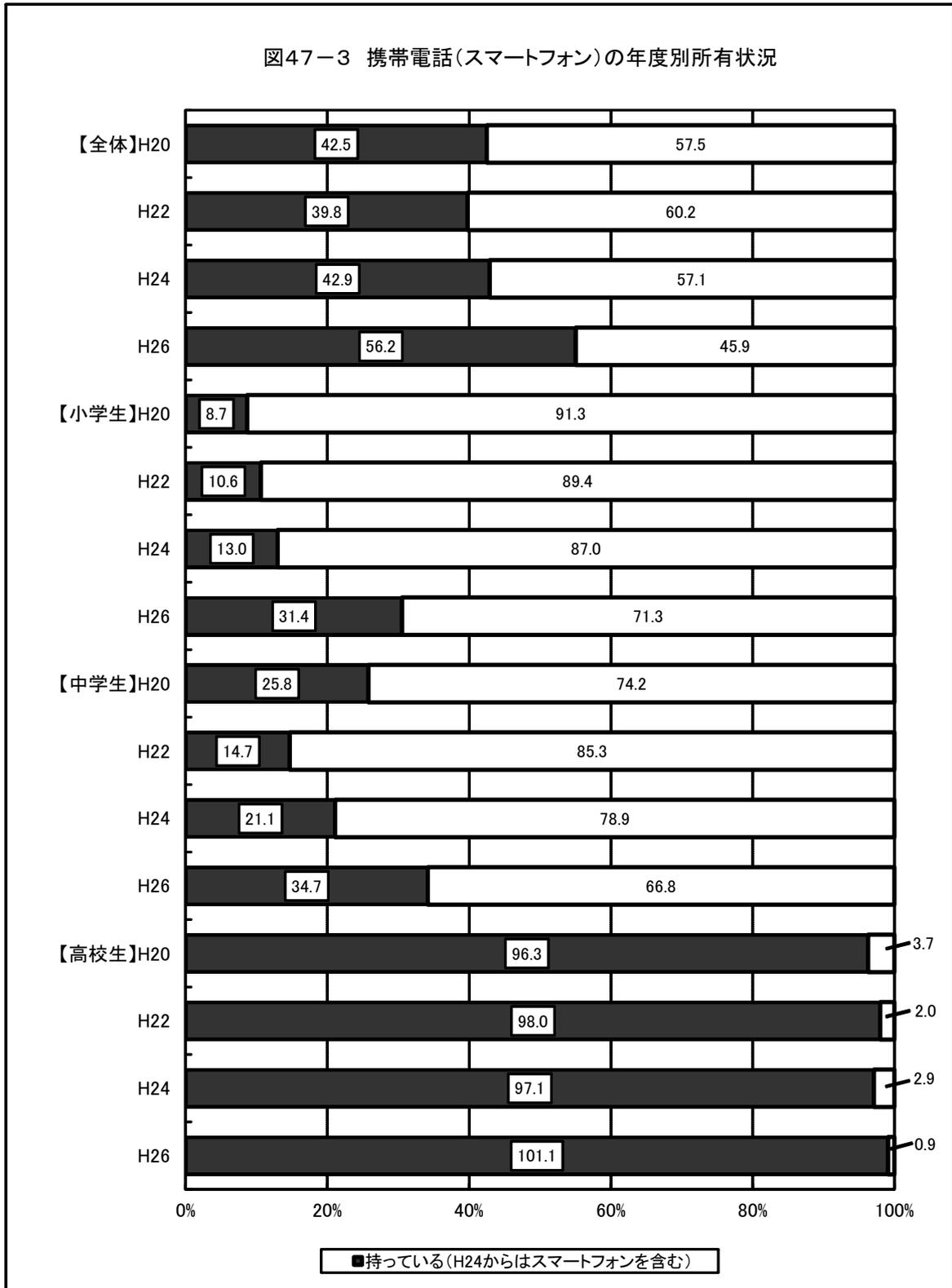
【属性別集計結果】

小学生、中学生、高校生のいずれも、女子のほうが男子よりも所有率が高い。スマートフォンの所有状況を見ると、高校生の女子が95.4%で最も高い。



【時系列比較(平成20年度、22年度、24年度と26年度との調査比較)】

24年度の所有率と比較すると、全体では13. 3ポイント増加している。学校種別に所有率を見てみると、小学生では18. 4ポイント、中学校では13. 6ポイント増加している、高校生では2. 0ポイント増加している。



< 携帯電話・スマートフォンの使用目的 >

(2)	(1)で1, 2を選んだ人にお聞きます。あなたは、携帯電話やスマートフォンをどのような目的で使うことが多いですか。あてはまるものを、いくつでも選んでください。
-----	---

【全体集計結果】

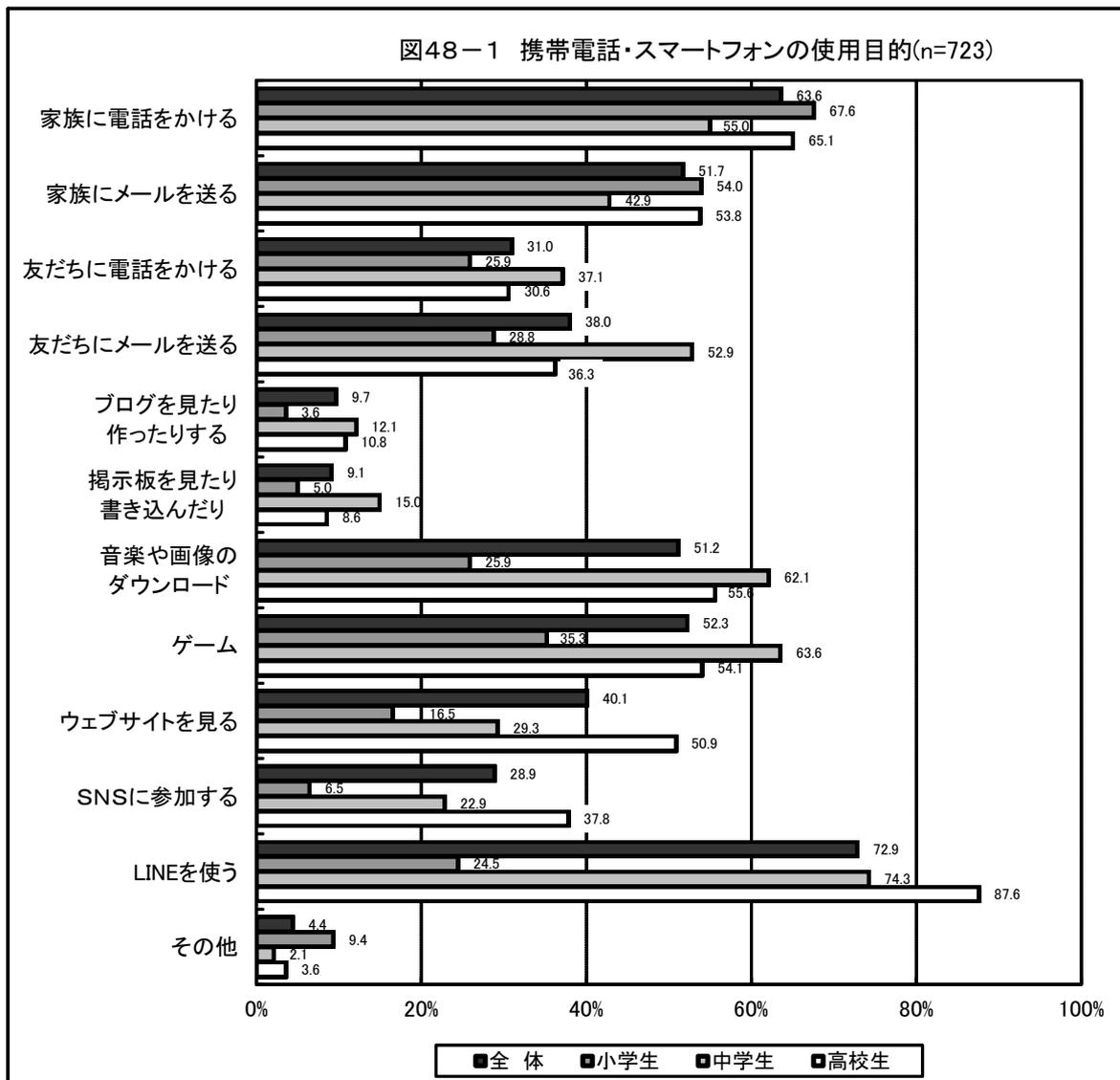
携帯電話・スマートフォンの使用目的を尋ねたところ、「LINEを使う」が72.9%で最も高く、以下、「家族に電話をかける」(63.6%)、「家族にメールを送る」(51.7%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生では、「家族に電話をかける」(67.6%)、「家族にメールを送る」(54.0%)、「ゲームをする」(35.3%)が上位を占めている。

中学生では、「LINEを使う」(74.3%)、「ゲームをする」(63.6%)、「音楽や画像をダウンロードする」(62.1%)が上位を占めている。

高校生では、「LINEを使う」(87.6%)、「家族に電話をかける」(65.1%)、「音楽や画像をダウンロードする」(55.6%)が上位を占めている。



【属性別集計結果】

小学男子、小学女子、中学男子、中学女子、高校男子、高校女子それぞれ割合が高い項目を3つあげると、以下のようになっている。

〈小学男子〉

- 「家族に電話をかける」(65.1%)
- 「家族にメールを送る」(47.6%)
- 「ゲームをする」(38.1%)

〈小学女子〉

- 「家族に電話をかける」(69.7%)
- 「家族にメールを送る」(59.2%)
- 「友だちにメールを送る」(34.2%)

〈中学男子〉

- 「ゲームをする」(89.1%)
- 「LINEを使う」(78.2%)
- 「音楽や画像をダウンロードする」(60.0%)

〈中学女子〉

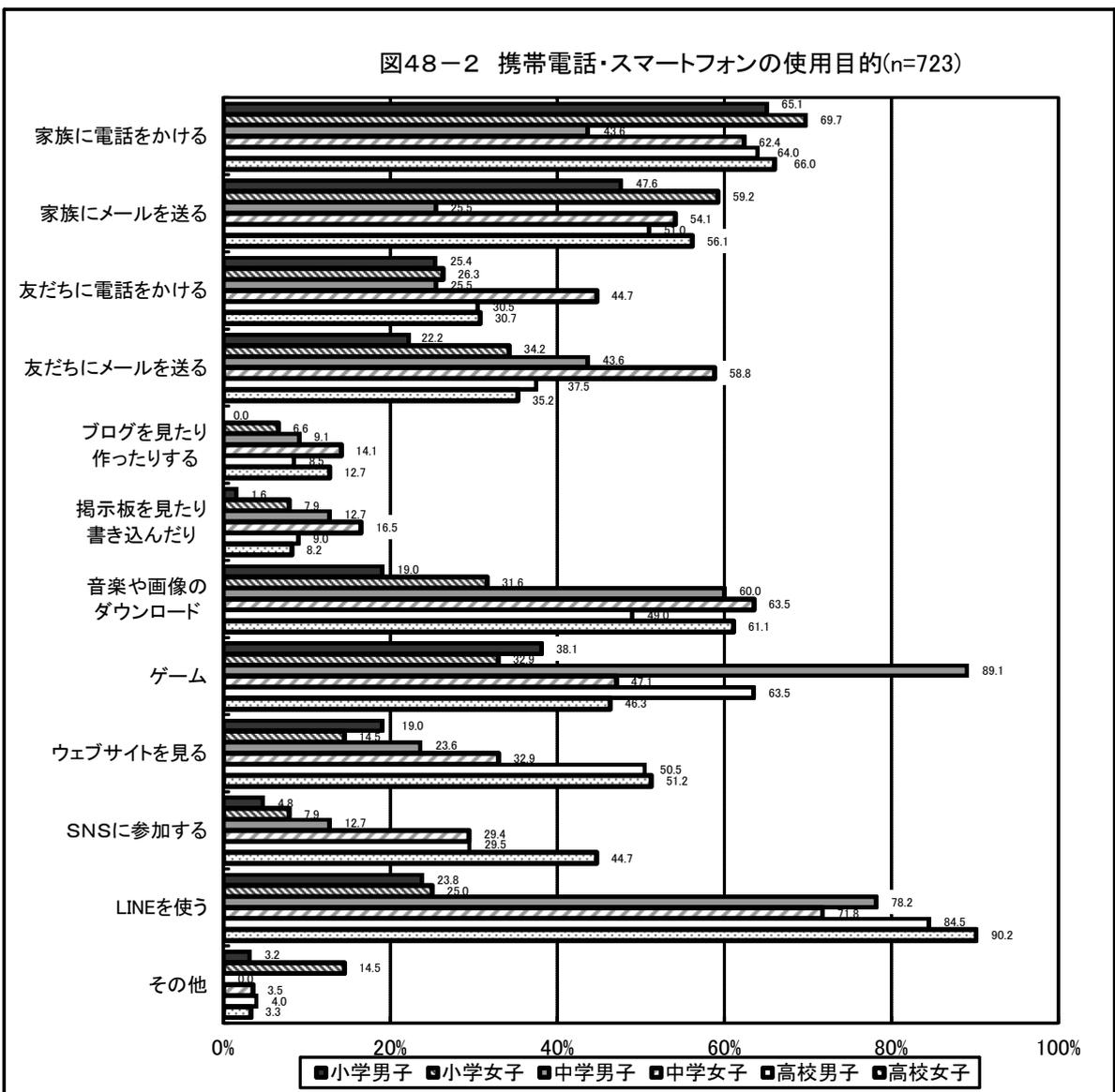
- 「LINEを使う」(71.8%)
- 「音楽や画像をダウンロードする」(63.5%)
- 「家族に電話をかける」(62.4%)

〈高校男子〉

- 「LINEを使う」(84.5%)
- 「家族に電話をかける」(64.0%)
- 「ゲームをする」(63.5%)

〈高校女子〉

- 「LINEを使う」(90.2%)
- 「家族に電話をかける」(66.0%)
- 「音楽や画像をダウンロードする」(61.1%)



< SNSの参加目的 >

(3) (2)で「10 SNSに参加する」を選んだ人にお聞きします。どんな目的で使うことが多いですか。あてはまるものは、いくつでも選んでください。

【全体集計結果】

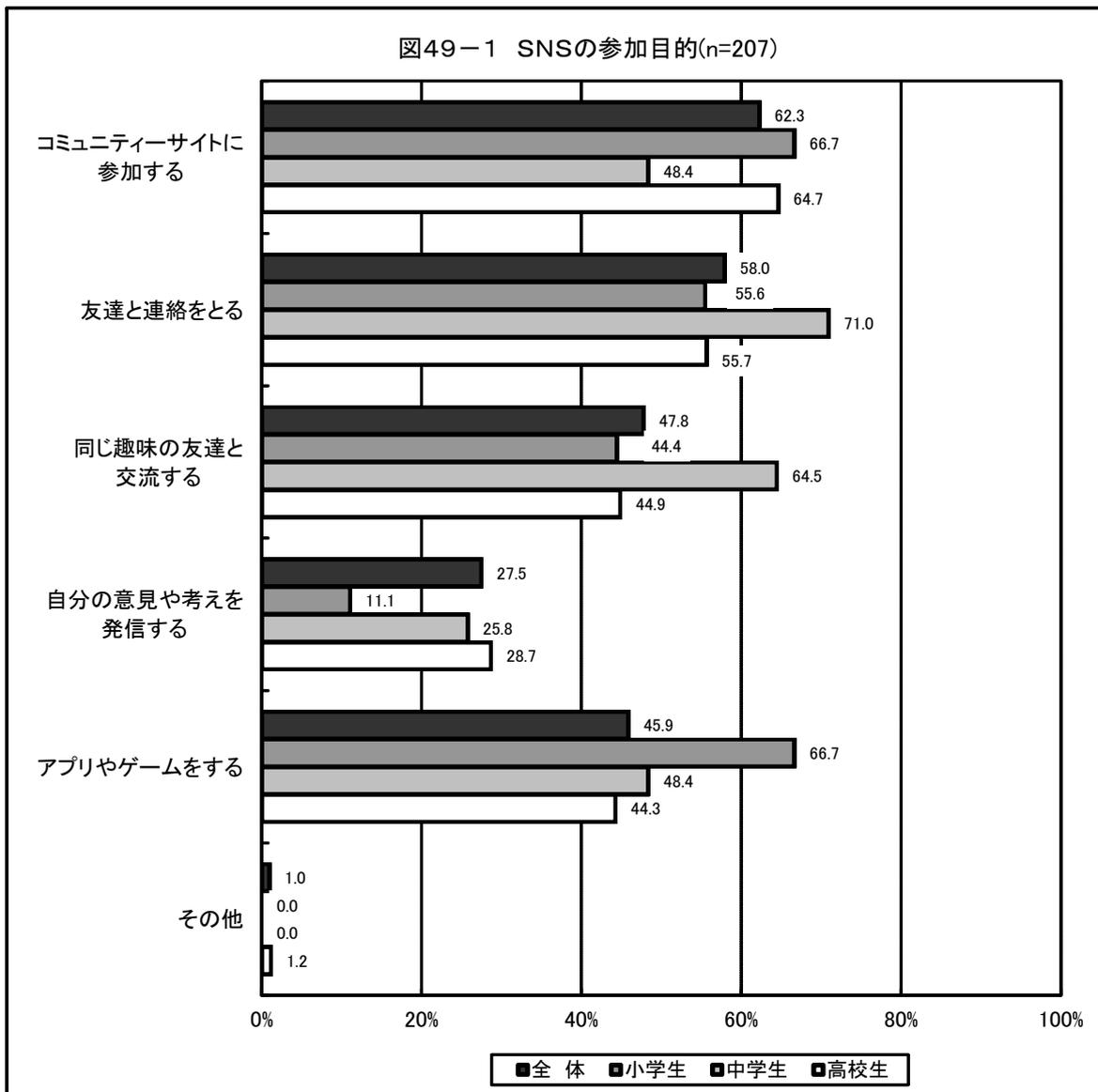
SNSの使用目的を尋ねたところ「コミュニティサイトに参加する」が62.3%で最も高く、以下、「友達と連絡をとる」(58.0%)、「同じ趣味の友達と交流する」(47.8%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生では、「コミュニティサイトに参加する」「アプリやゲームをする」(66.7%)、「友達と連絡をとる」(55.6%)となっている。

中学生では、「友達と連絡をとる」(71.0%)、「同じ趣味の友達と交流する」(64.5%)、「コミュニティサイトに参加する」「アプリやゲームをする」(48.4%)となっている。

高校生では、「コミュニティサイトに参加する」(64.7%)、「友達と連絡をとる」(55.7%)、「同じ趣味の友達と交流する」(44.9%)が上位を占めている。



【属性別集計結果】

小学男子、小学女子、中学男子、中学女子、高校男子、高校女子それぞれ割合が高い項目を3つあげると、以下のようになっている。

〈小学男子〉

- 「アプリやゲームをする」(100%)
- 「友達と連絡をとる」(66.7%)
- 「コミュニティーサイトに参加する」(33.3%)

〈小学女子〉

- 「コミュニティーサイトに参加する」(83.3%)
- 「同じ趣味の友達と交流する」(66.7%)
- 「友達と連絡をとる」(50.0%)
- 「アプリやゲームをする」(50.0%)

〈中学男子〉

- 「友達と連絡をとる」(100%)
- 「同じ趣味の友達と交流する」(100%)
- 「コミュニティーサイトに参加する」(83.3%)
- 「アプリやゲームをする」(83.3%)

〈中学女子〉

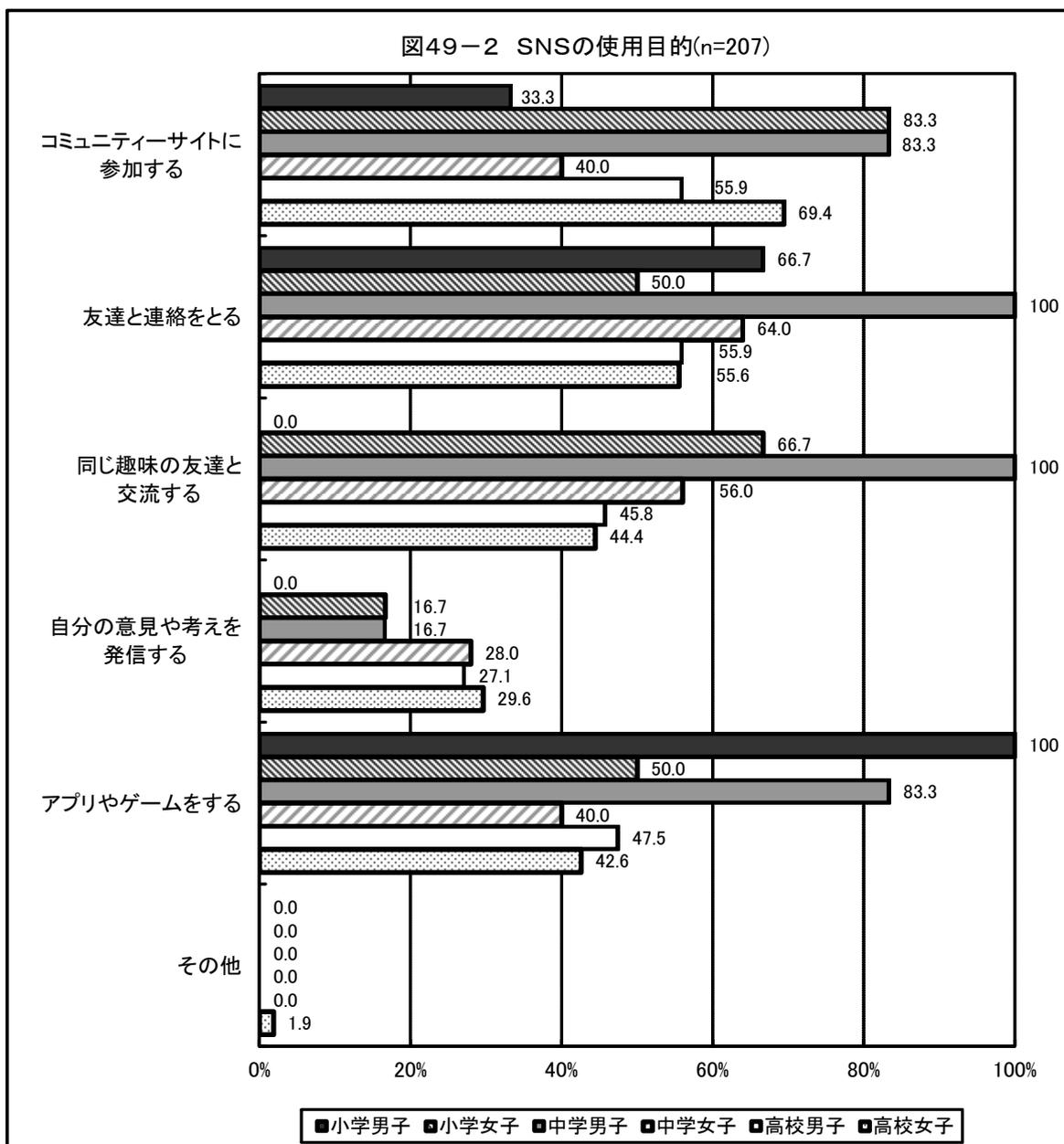
- 「友達と連絡をとる」(64.0%)
- 「同じ趣味の友達と交流する」(56.0%)
- 「コミュニティーサイトに参加する」(40.0%)
- 「アプリやゲームをする」(40.0%)

〈高校男子〉

- 「コミュニティーサイトに参加する」(55.9%)
- 「友達と連絡をとる」(55.9%)
- 「アプリやゲームをする」(47.5%)

〈高校女子〉

- 「コミュニティーサイトに参加する」(69.4%)
- 「友達と連絡をとる」(55.6%)
- 「同じ趣味の友達と交流する」(44.4%)



< LINEの使用目的 >

(4) (2)で「11 LINEを使う」を選んだ人にお聞きします。どんな目的で使うことが多いですか。あてはまるものは、いくつでも選んでください。

【全体集計結果】

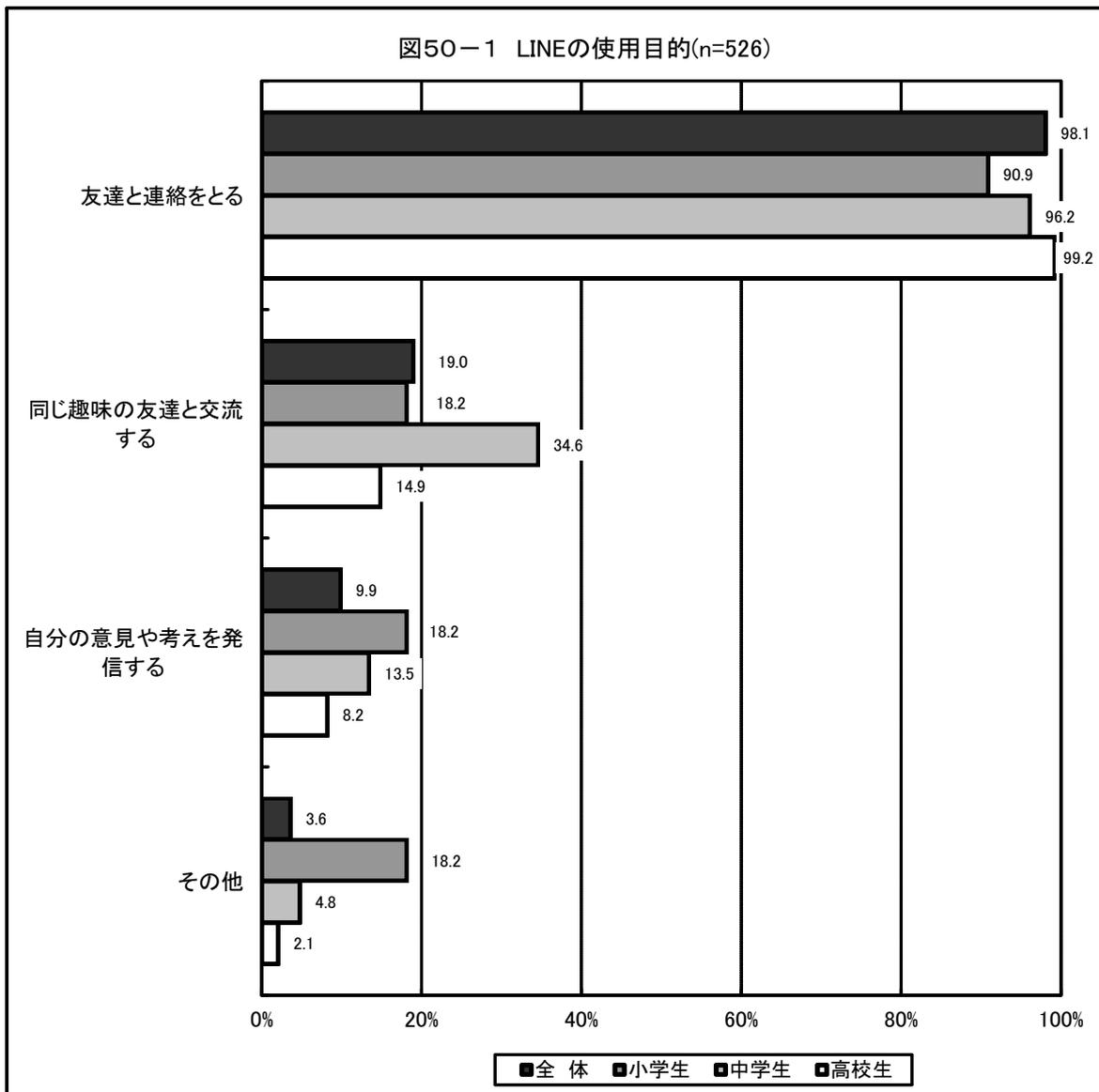
LINEの使用目的を尋ねたところ、「友達と連絡をとる」が98.1%で最も高く、以下「同じ趣味の友達と交流する」(19.0%)、「自分の意見や考えを発信する」(9.9%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生では、「友達と連絡をとる」(90.9%)、「同じ趣味の友達と交流する」、「自分の意見や考えを発信する」、「その他」(18.2%)となっている。

中学生では、「友達と連絡をとる」(96.2%)、「同じ趣味の友達と交流する」(34.6%)、「自分の意見や考えを発信する」(13.5%)となっている。

高校生では、「友達と連絡をとる」(99.2%)、「同じ趣味の友達と交流する」(14.9%)、「自分の意見や考えを発信する」(8.2%)となっている。



【属性別集計結果】

小学男子、小学女子、中学男子、中学女子、高校男子、高校女子それぞれ割合が高い項目を3つあげると、以下のようになっている。

〈小学男子〉

「友達と連絡をとる」(100%)

「同じ趣味の友達と交流する」(28.6%)

「自分の意見や考えを発信する」(21.4%)

〈小学女子〉

「友達と連絡をとる」(84.2%)

「その他」(21.1%)

「自分の意見や考えを発信する」(15.8%)

〈中学男子〉

「友達と連絡をとる」(95.3%)

「同じ趣味の友達と交流する」(30.2%)

「自分の意見や考えを発信する」(7.0%)

〈中学女子〉

「友達と連絡をとる」(96.7%)

「同じ趣味の友達と交流する」(37.7%)

「自分の意見や考えを発信する」(18.0%)

〈高校男子〉

「友達と連絡をとる」(98.8%)

「同じ趣味の友達と交流する」(17.8%)

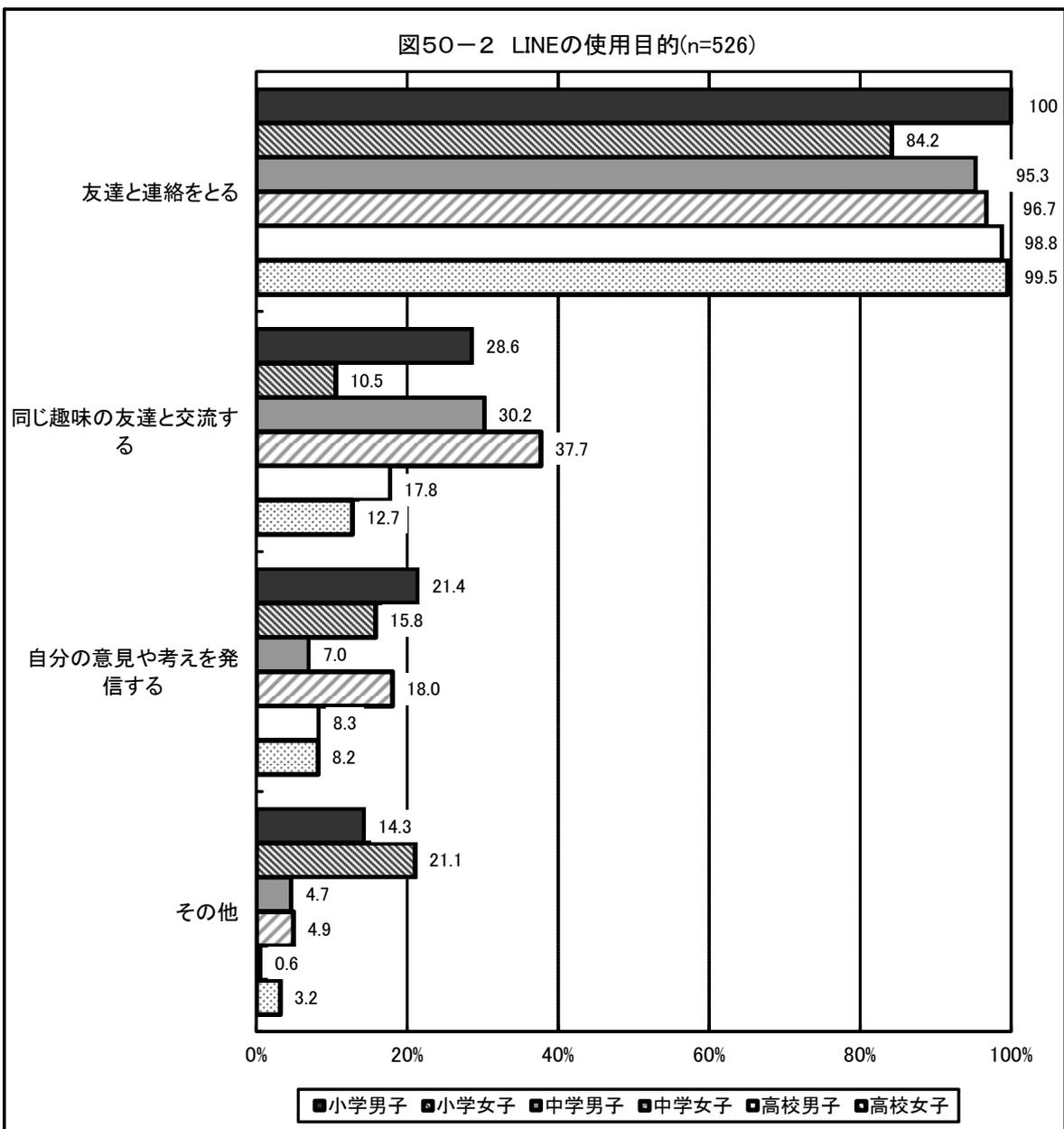
「自分の意見や考えを発信する」(8.3%)

〈高校女子〉

「友達と連絡をとる」(99.5%)

「同じ趣味の友達と交流する」(12.7%)

「自分の意見や考えを発信する」(8.2%)



< 携帯電話・スマートフォンの使用時間 >

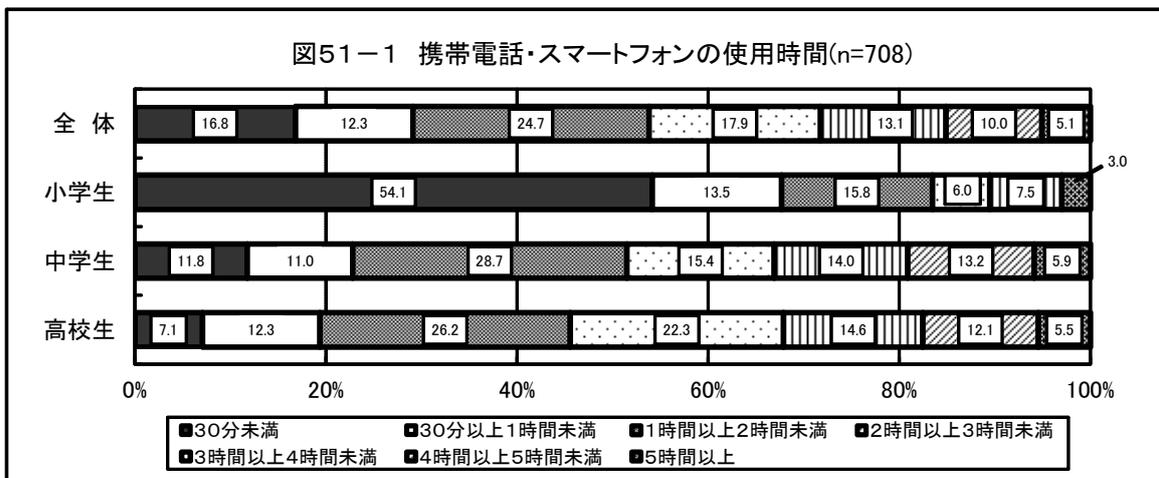
(5) (1)で1, 2を選んだ人にお聞きします。あなたは、携帯電話やスマートフォンを一日にどのくらい使用していますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

携帯電話・スマートフォンの使用時間を尋ねたところ、「1時間以上2時間未満」が24.7%で最も高く、以下「2時間以上3時間未満」(17.9%)、「30分未満」(16.8%)などとなっている。

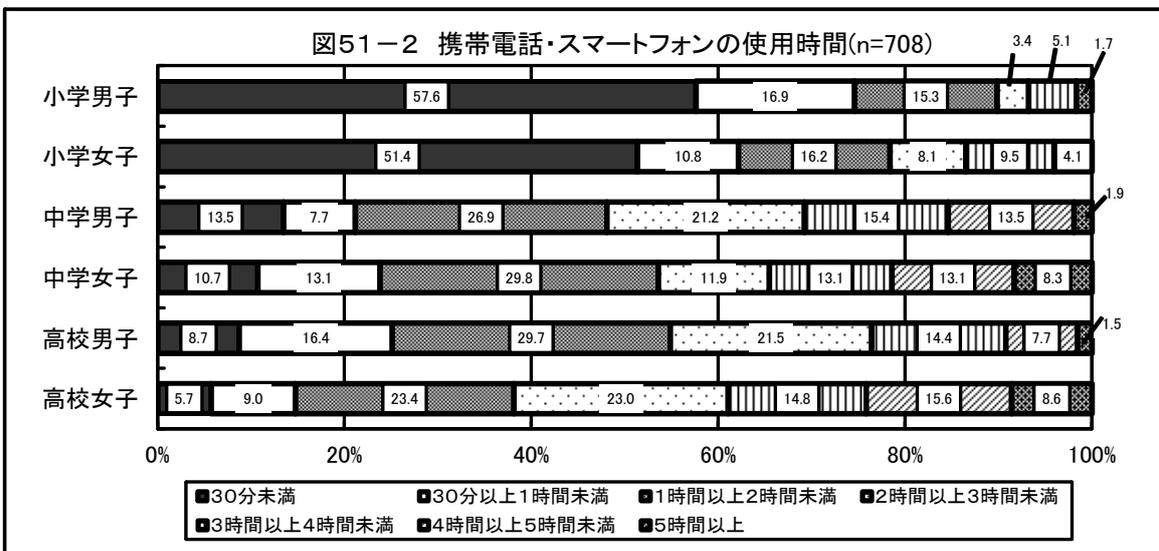
【学校種別集計結果】

学校種別に携帯電話・スマートフォンの使用時間について見てみると、小学生は「30分未満」が54.1%で最も高く、中学生は「1時間以上2時間未満」が28.7%、高校生も「1時間以上2時間未満」が26.2%で最も高い。



【属性別集計結果】

属性別に携帯電話・スマートフォンの使用時間を見てみると、小学生は「30分未満」(男子57.6%、女子51.4%)が男女ともに最も高い。また、中学生は「1時間以上2時間未満」(男子26.9%、女子29.8%)が男女ともに最も高い。高校生では、男子は「1時間以上2時間未満」(29.7%)、女子は「1時間以上2時間未満」(23.0%)が最も高い。



< フィルタリング機能の認知状況(携帯電話・スマートフォン) >

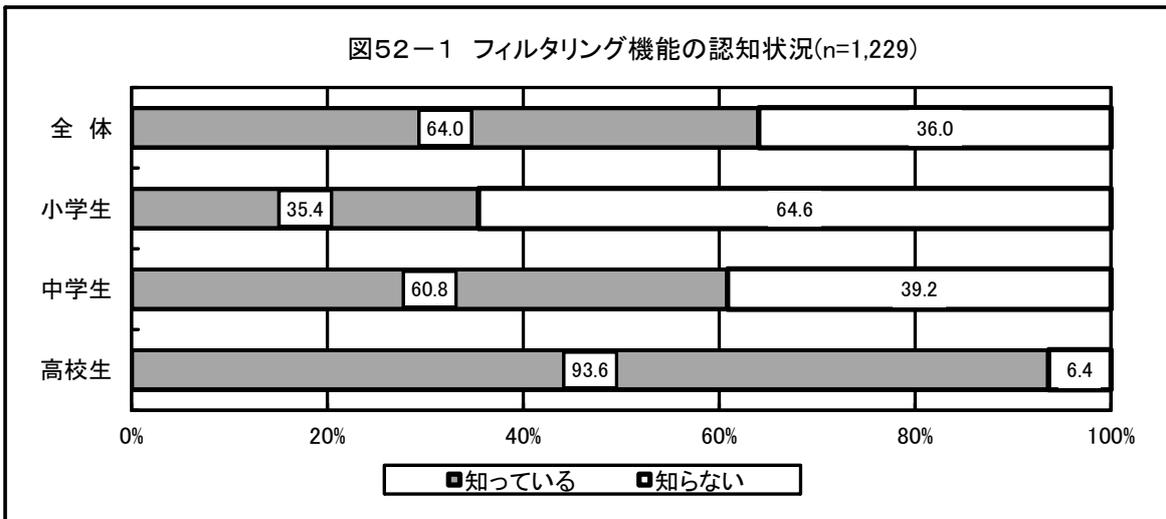
(6) あなたは、携帯電話やスマートフォンのフィルタリング機能(青少年にとって好ましくないサイトを見られないようにする機能)について、知っていますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

フィルタリング機能を知っているかどうか尋ねたところ、「知っている」が64.0%で「知らない」(36.0%)を28ポイント上回っている。

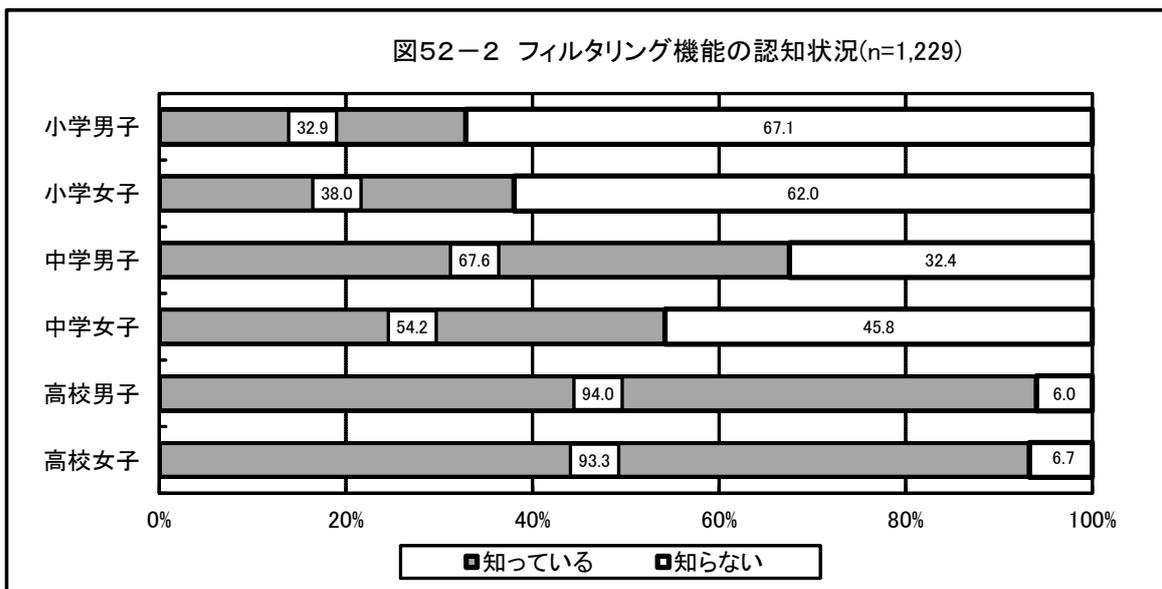
【学校種別集計状況】

「知っている」を見てみると、高校生が93.6%で最も高く、以下、中学生(60.8%)、小学生(35.4%)となっている。



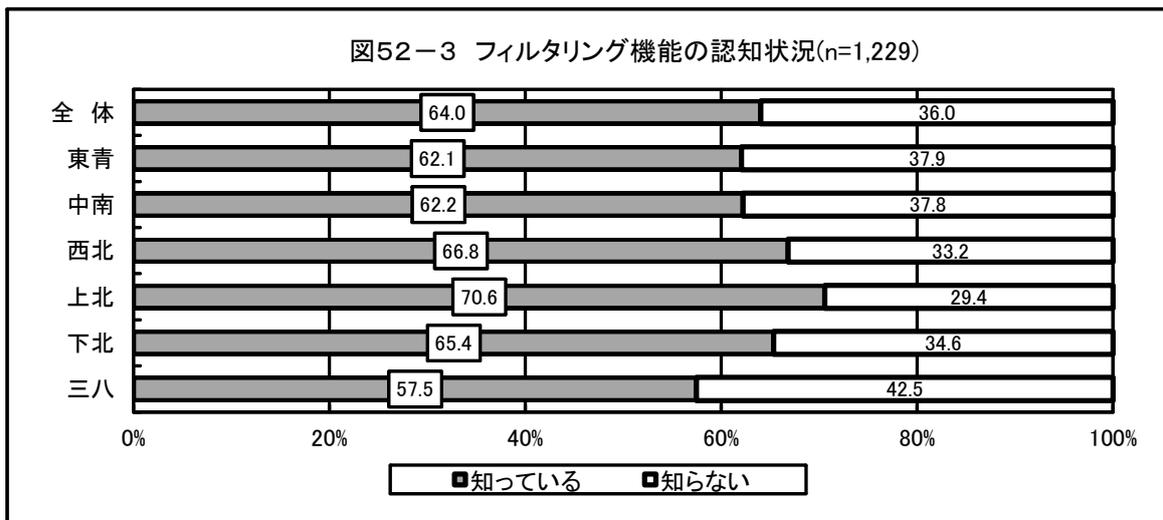
【属性別集計結果】

「知っている」を見てみると、高校男子が94.0%で最も高く、以下、高校女子(93.3%)、中学男子(67.6%)となっている。また、中学生、高校生は男子のほうが女子よりも高いが、小学生は女子のほうが男子よりも高い。



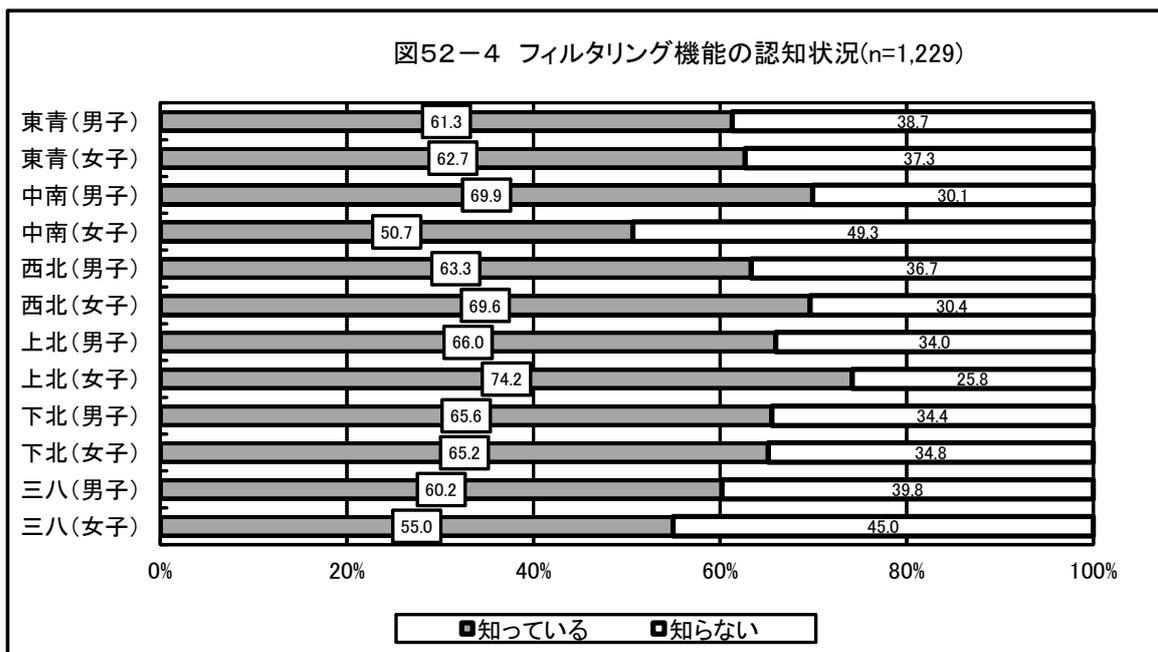
【地域別集計状況】

「知っている」を見てみると、上北地域が70.6%で最も高く、以下、西北地域(66.8%)、下北地域(65.4%)となっている。



【属性別集計結果】

「知っている」を見てみると、上北地域の女子が74.2%で最も高い。中南、下北、三八地域では男子のほうが女子よりも割合が高いが、東青、西北、上北地域では女子のほうが男子より割合が高い。



< 携帯電話のフィルタリング機能の利用状況 >

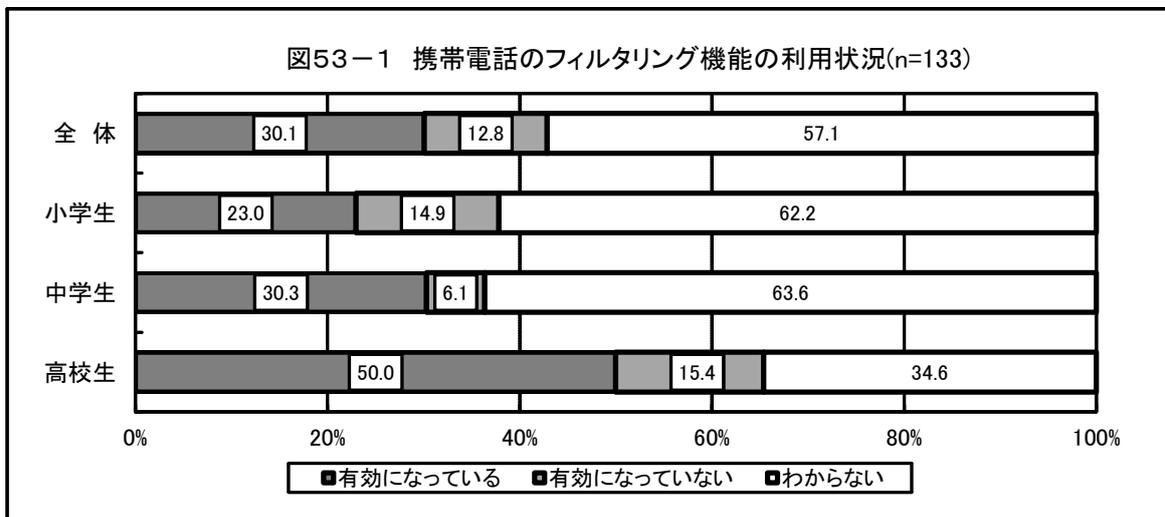
(7) 携帯電話を持っている人はお答えください。フィルタリング機能は有効になっていますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

使用している携帯電話のフィルタリング機能が有効になっているかどうかを尋ねたところ、「わからない」が57.1%で最も高く、以下「有効になっている」(30.1%)、「有効になっていない」(12.8%)となっている。

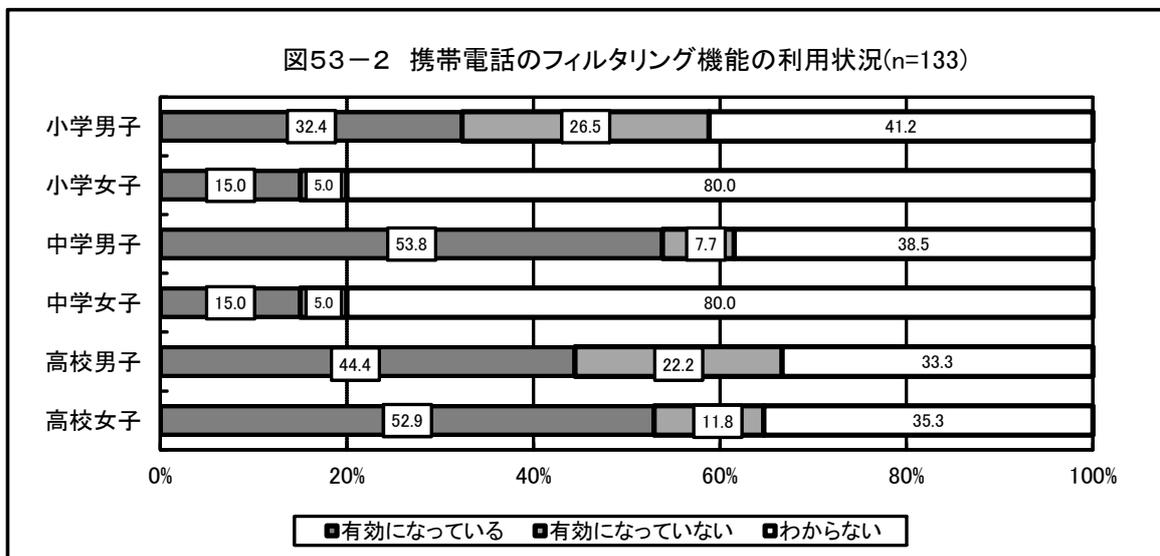
【学校種別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、高校生が50.0%で最も高く、以下、中学生(30.3%)、小学生(23.0%)となっている。一方、「有効になっていない」を見てみると、高校生が15.4%で最も高く、以下、小学生(14.9%)、中学生(6.1%)となっている。また、小学生と中学生については、60%以上が「わからない」となっている。



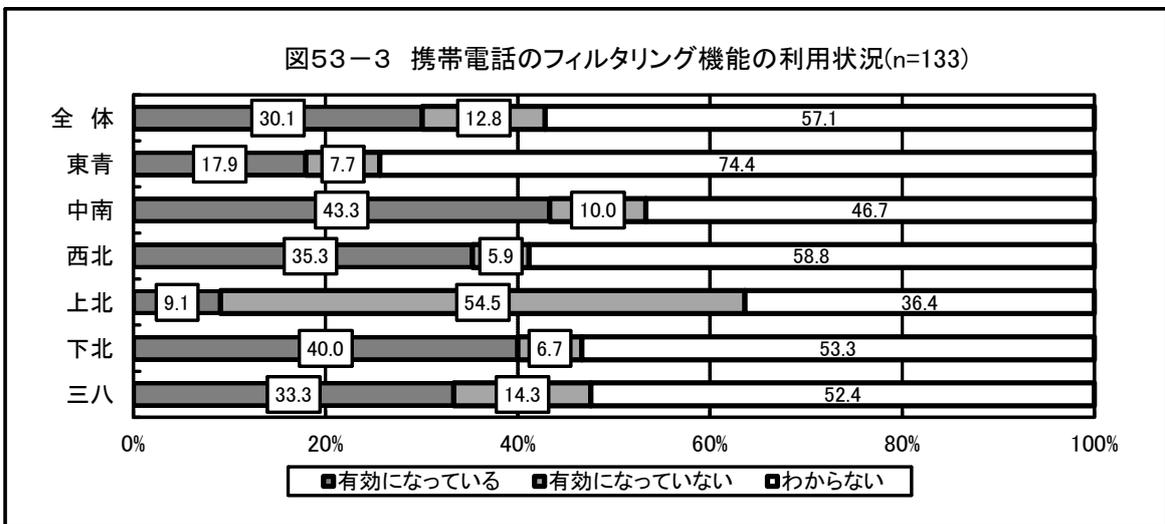
【属性別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、中学男子が53.8%で最も高い。また、小学生と中学生は男子のほうが女子よりも高いが、高校生は女子のほうが男子よりも高い。なお、「わからない」は小学女子が80%と最も高い。



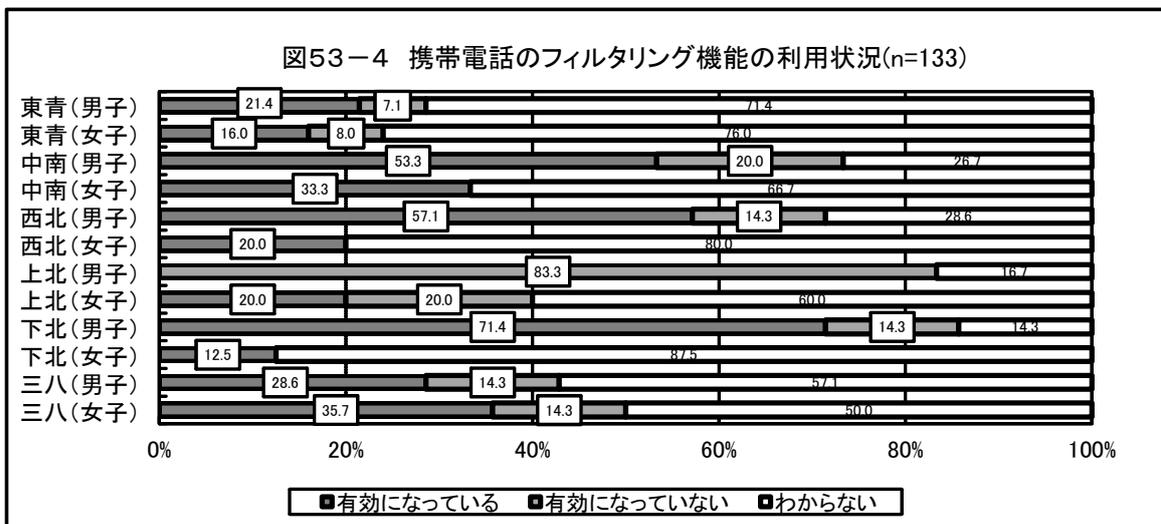
【地域別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、中南地域が43.3%で最も高く、以下、下北地域(40.0%)、西北地域(35.3%)となっている。一方、「有効になっていない」を見てみると、上北地域が54.5%で最も高く、以下、三八地域(14.3%)、中南地域(10.0%)となっている。また、東青地域については、74.4%が「わからない」となっている。



【属性別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、下北地域の男子が71.4%で最も高い。また、「有効になっていない」は上北男子が83.3%と最も高い。



< スマートフォンのフィルタリング機能の利用状況 >

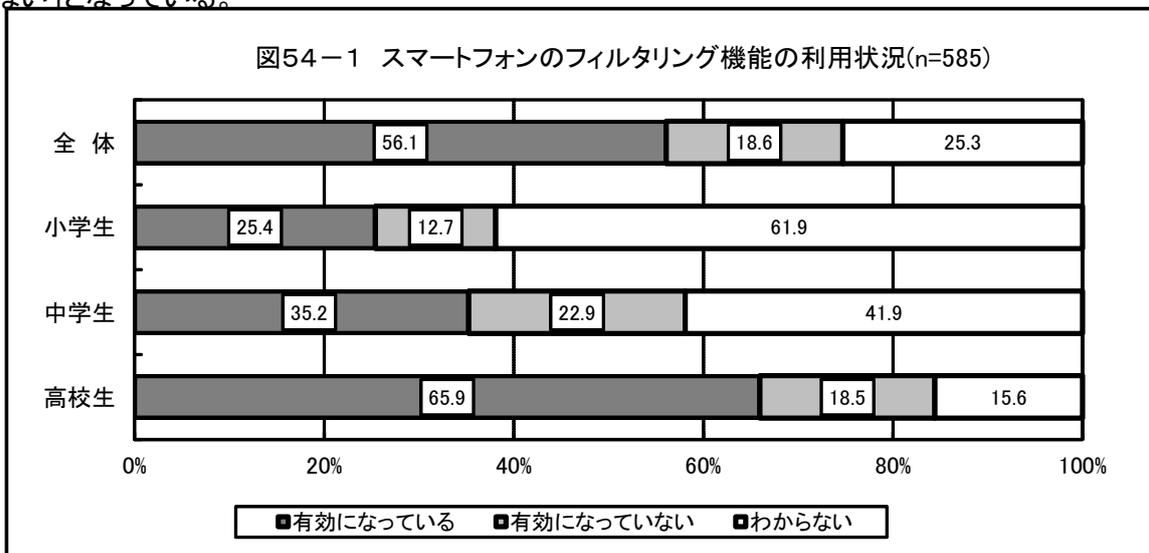
(8) スマートフォンを持っている人はお答えください。フィルタリング機能は有効になっていますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

使用しているスマートフォンのフィルタリング機能が有効になっているかどうかを尋ねたところ、「有効になっている」が56.1%で最も高く、以下、「わからない」(25.3%)、「有効になっていない」(18.6%)となっている。

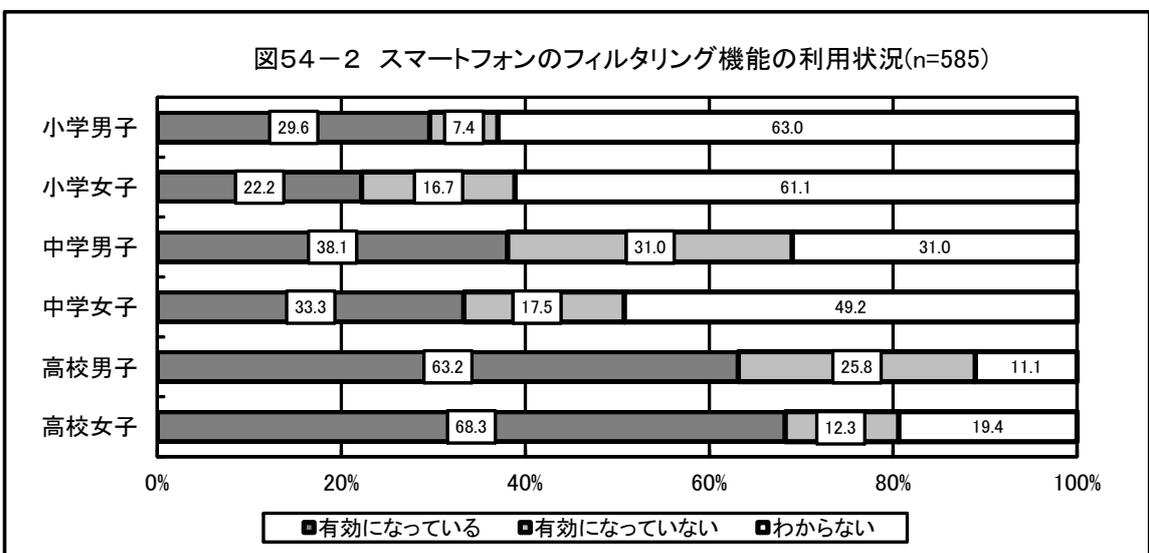
【学校種別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、高校生が65.9%で最も高く、以下、中学生(35.2%)、小学生(25.4%)となっている。一方、「有効になっていない」を見てみると、中学生が22.9%で最も高く、以下、高校生(18.5%)となっている。また、小学生については61.9%が「わからない」となっている。



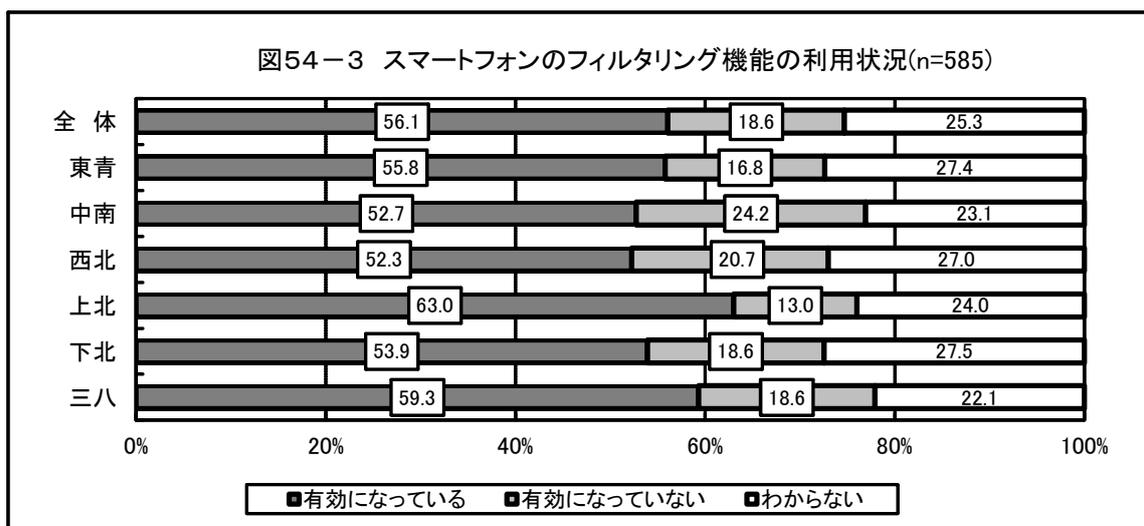
【属性別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、高校女子が68.3%で最も高い。また、小学生、中学生とも男子のほうが女子よりもポイントが高いが、高校生は女子のほうが男子よりもポイントが高い。



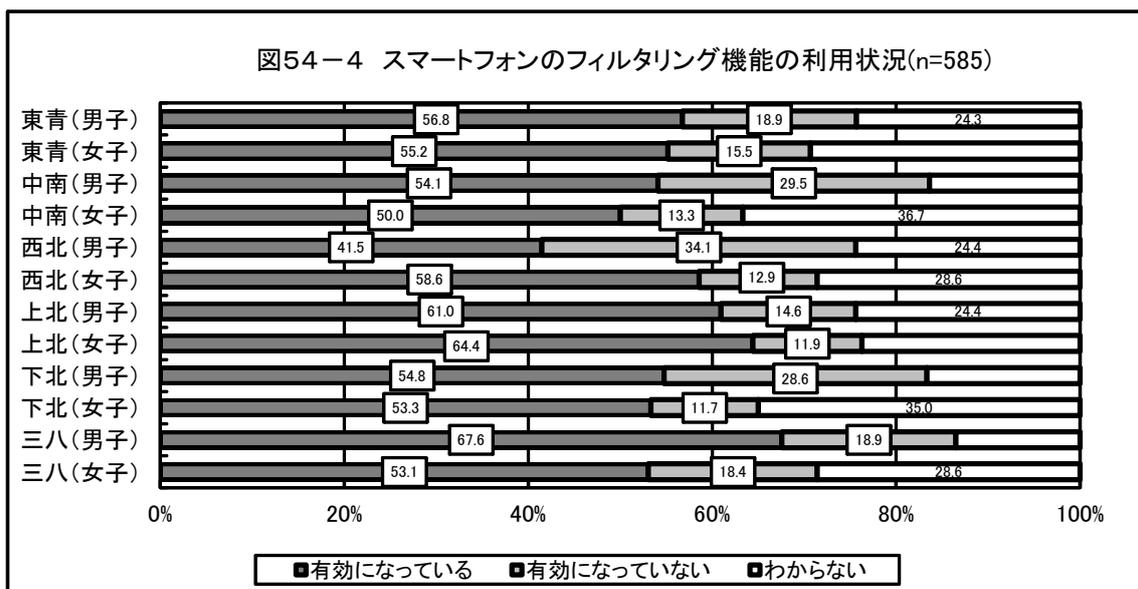
【地域別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、上北地域が63.0%で最も高く、以下、三八地域(59.3%)、東青地域(55.8%)となっている。一方、「有効になっていない」を見てみると、中南地域が24.2%で最も高く、以下、西北地域(20.7%)、下北、三八地域(18.6%)となっている。



【属性別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、三八地域の男子が67.6%で最も高い。また、西北男子が41.5%で最も低い。



< 自由に使えるパソコンの所有状況 >

問20 パソコンについてお聞きします。

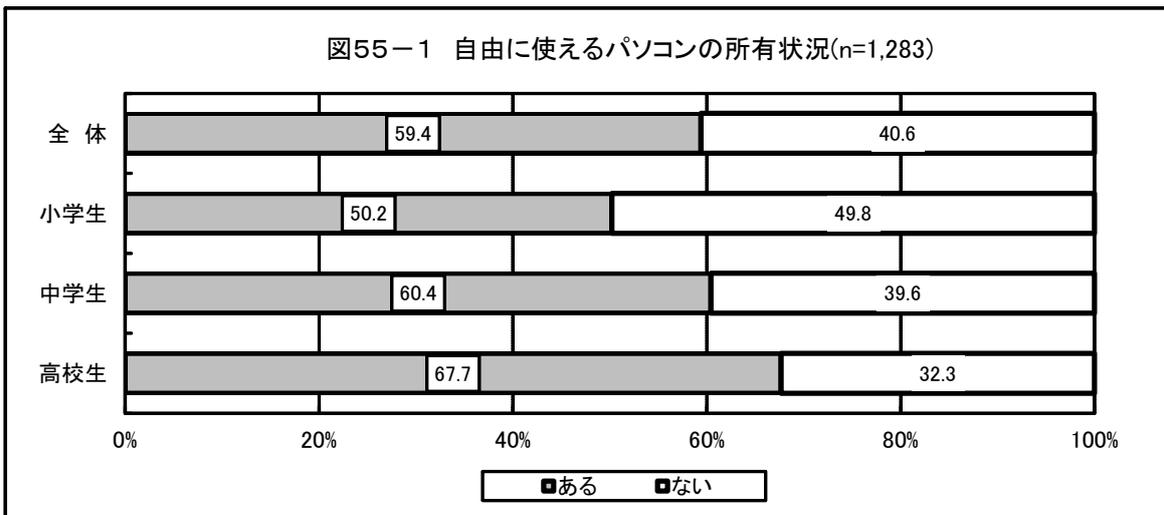
(1) あなたの家にはあなたが自由に使えるパソコンがありますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

自由に使えるパソコンがあるかどうかを尋ねたところ、「ある」が59.4%となっており、「ない」(40.6%)よりも18.8ポイント高い。

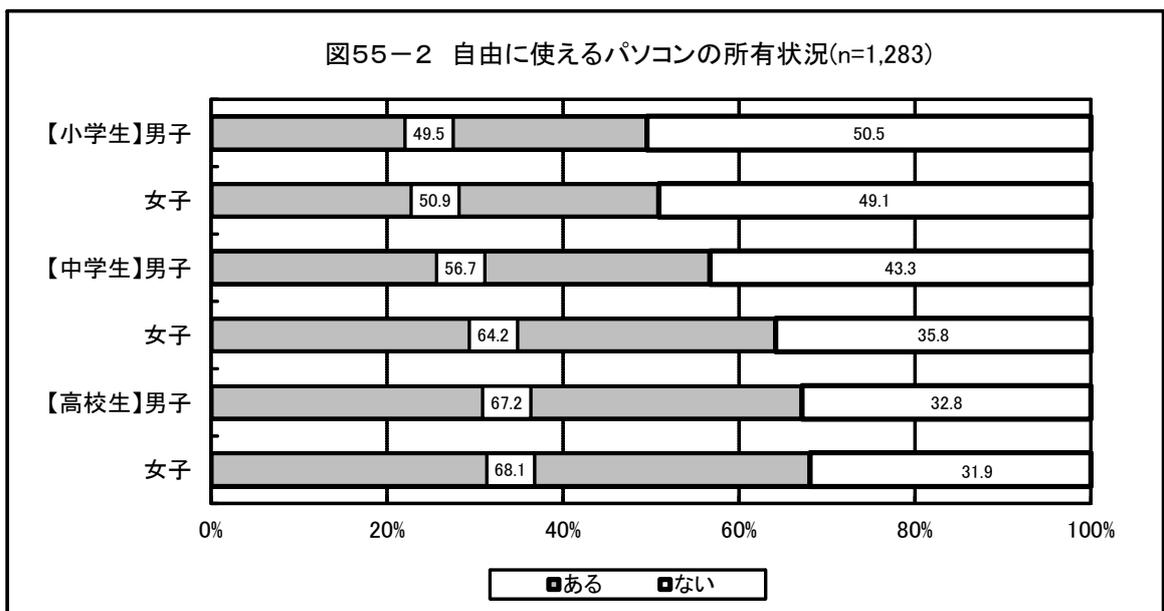
【学校種別集計結果】

自由に使えるパソコンの所有率が最も高いのは、高校生の67.7%で、以下、中学生が60.4%、小学生が50.2%となっている。



【属性別集計結果】

『自由に使えるパソコン』の所有率が最も高いのは、高校女子で68.1%となっており、以下、高校男子(67.2%)、中学女子(64.2%)などとなっている。



< 自由に使えるパソコンの使用目的 >

(2)	(1)で「自由に使えるパソコンがある」を選んだ人はお答えください。あなたは、パソコンをどのような目的で使うことが多いですか。あてはまるものを、いくつでも選んでください。
-----	--

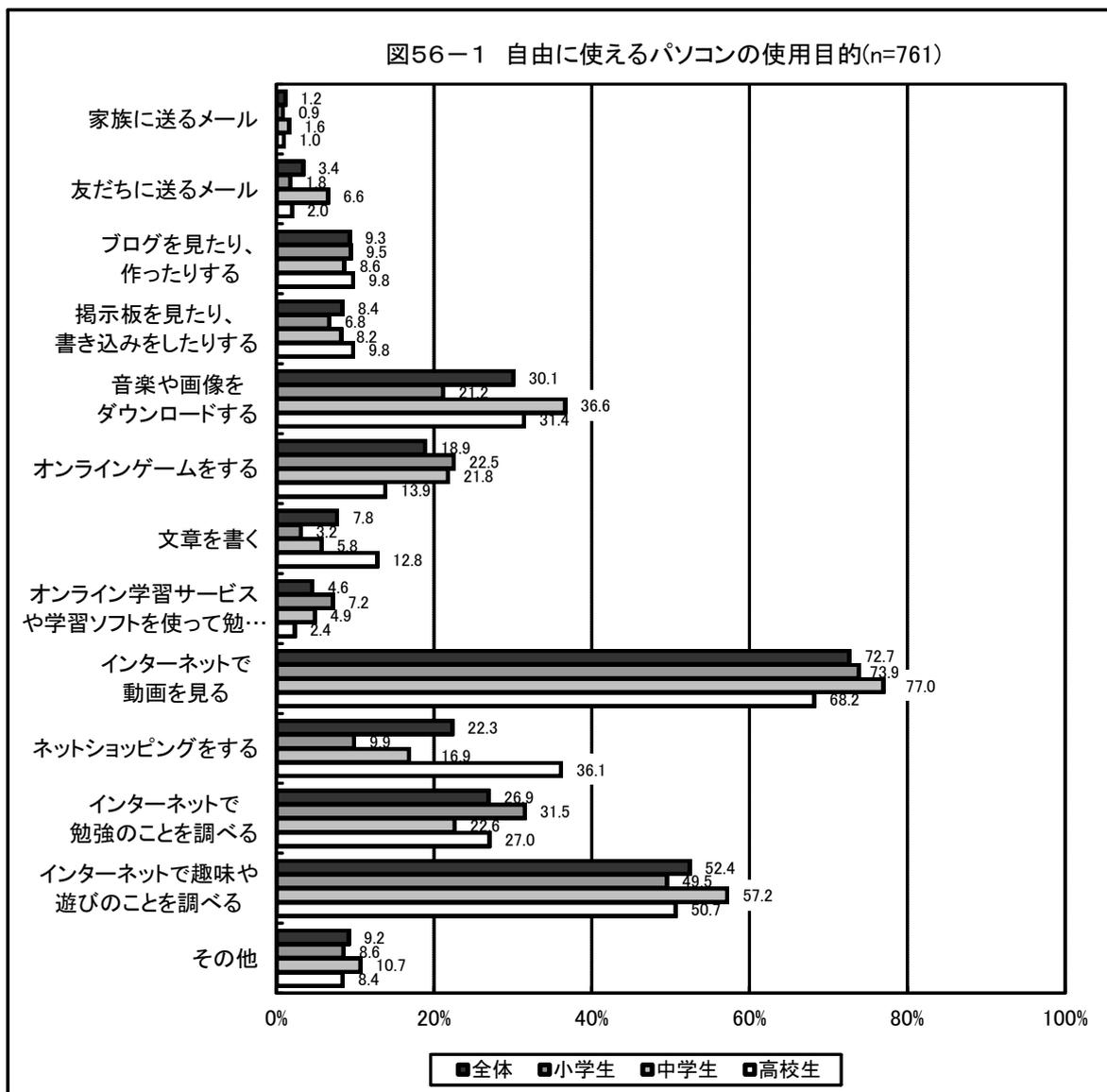
【全体集計結果】

自由に使えるパソコンの使用目的を尋ねたところ、「インターネットで動画を見る」が72.7%で最も高く、以下、「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(52.4%)、「音楽や画像のダウンロード」(30.1%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生、中学生、高校生のいずれも、「インターネットで動画を見る」(小学生: 73.9%、中学生: 77.0%、高校生: 68.2%)、「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(小学生: 49.5%、中学生: 57.2%、高校生: 50.7%)が上位を占めている。

以下、小学生は「インターネットで勉強のことを調べる」(31.5%)、中学生は「音楽や画像のダウンロード」(36.6%)、高校生は「ネットショッピングをする」(36.1%)などとなっている。



【属性別集計結果】

小学男子、小学女子、中学男子、中学女子、高校男子、高校女子それぞれ割合が高い項目を3つあげると、以下のようになっている。

〈小学男子〉

- 「インターネットで動画を見る」(73.6%)
- 「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(47.3%)
- 「オンラインゲームをする」(28.2%)

〈小学女子〉

- 「インターネットで動画を見る」(74.1%)
- 「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(51.8%)
- 「インターネットで勉強のことを調べる」(39.3%)

〈中学男子〉

- 「インターネットで動画を見る」(72.8%)
- 「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(57.9%)
- 「音楽や画像をダウンロードする」(33.3%)

〈中学女子〉

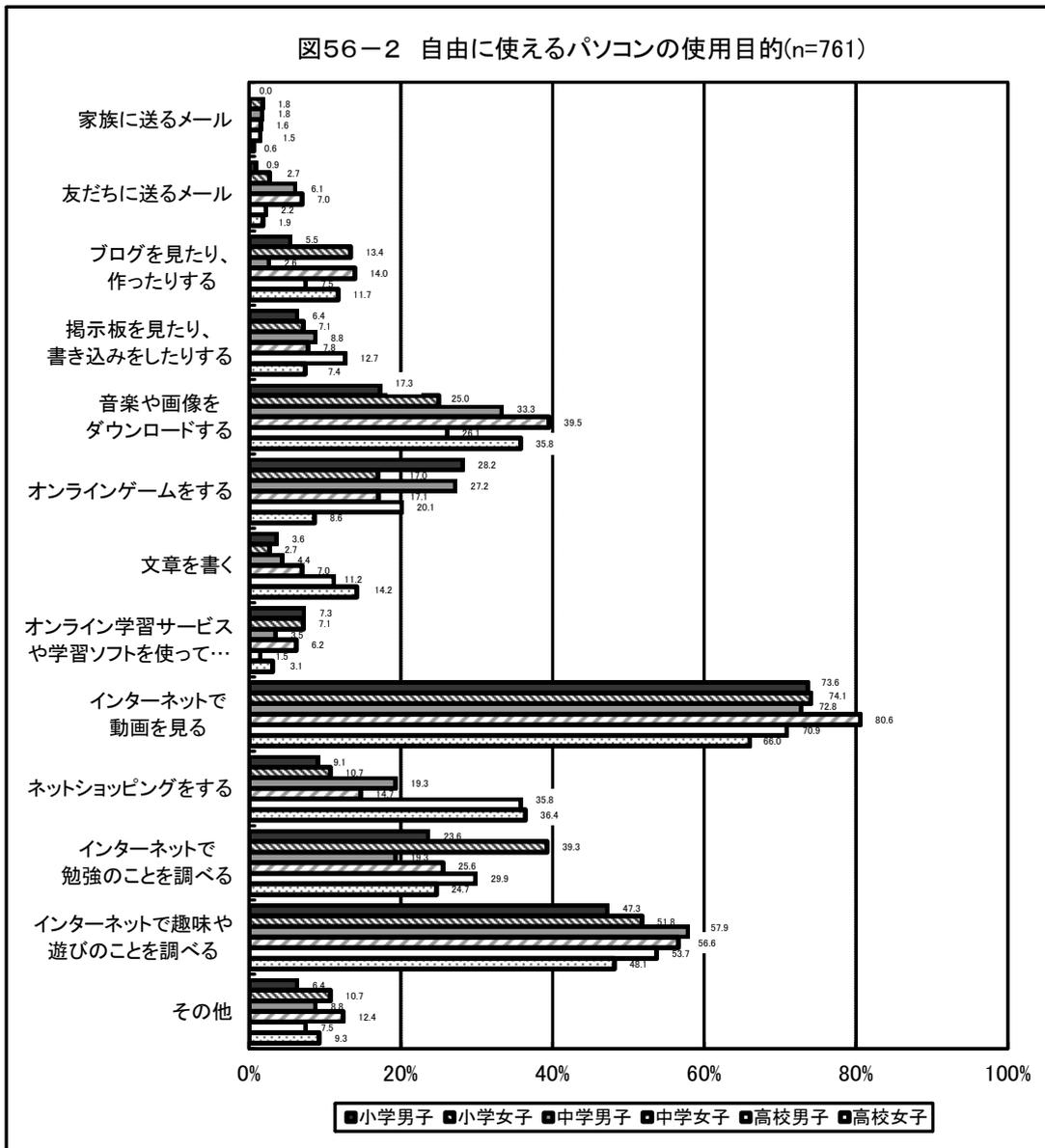
- 「インターネットで動画を見る」(80.6%)
- 「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(56.6%)
- 「音楽や画像をダウンロードする」(39.5%)

〈高校男子〉

- 「インターネットで動画を見る」(70.9%)
- 「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(53.7%)
- 「ネットショッピングをする」(35.8%)

〈高校女子〉

- 「インターネットで動画を見る」(66.0%)
- 「インターネットで趣味や遊びのことを調べる」(48.1%)
- 「ネットショッピングをする」(36.4%)



< 自由に使えるパソコンの使用時間 >

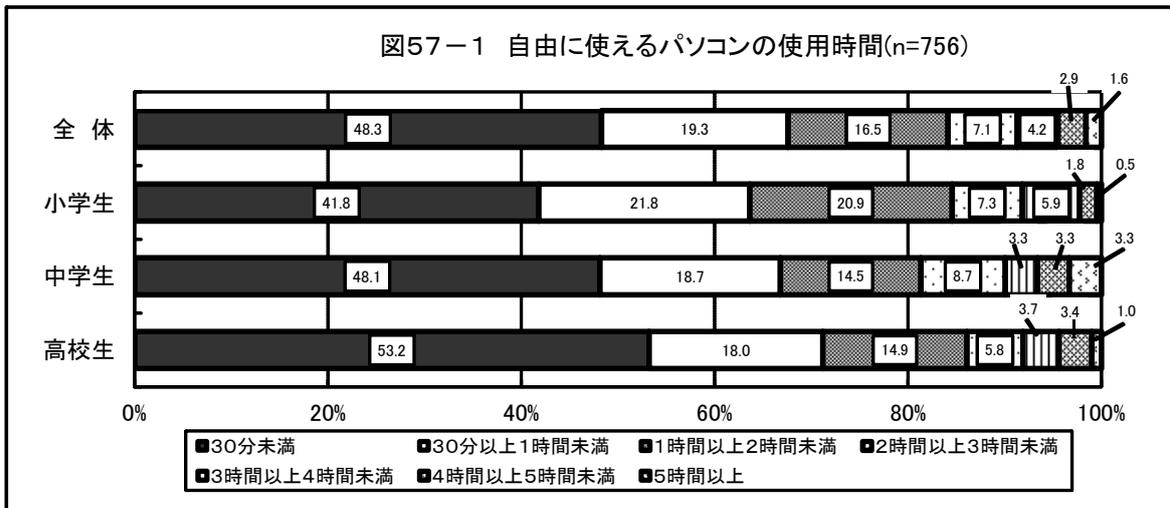
(3) (1)で「自由に使えるパソコンがある」を選んだ人へお答えください。あなたは、パソコンを一日にどのくらい使用していますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

自由に使えるパソコンの使用時間を尋ねたところ、「30分未満」が48.3%で最も高く、以下、「30分以上1時間未満」(19.3%)、「1時間以上2時間未満」(16.5%)などとなっている。

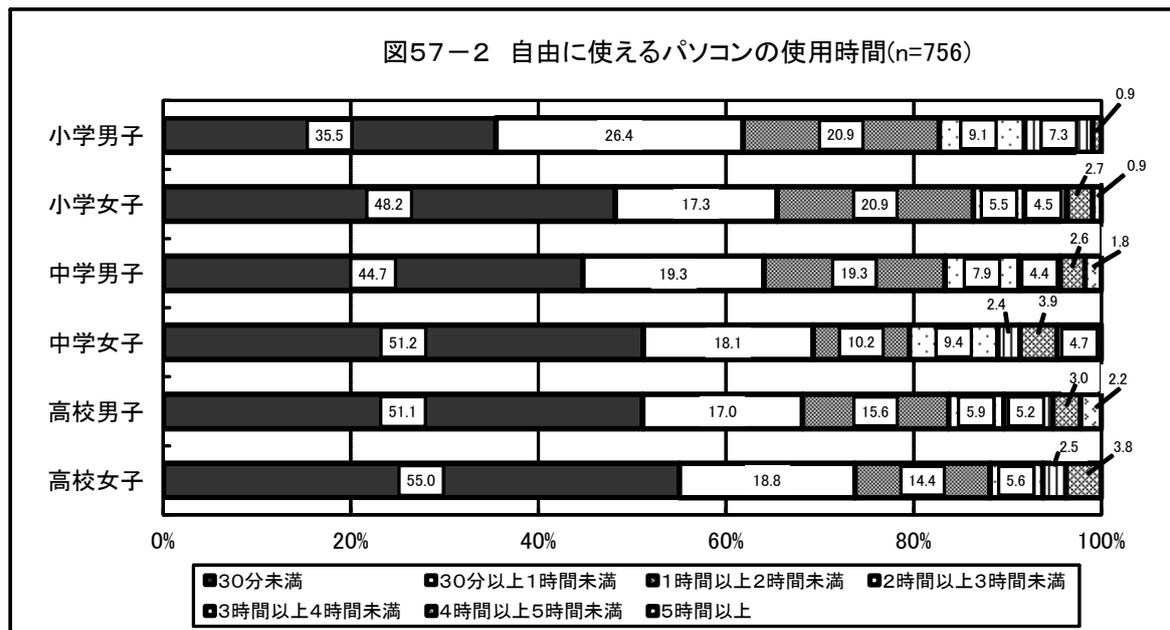
【学校種別集計結果】

小学生、中学生、高校生のいずれも、「30分未満」(小学生:41.8%、中学生:48.1%、高校生:53.2%)の割合が最も高い。



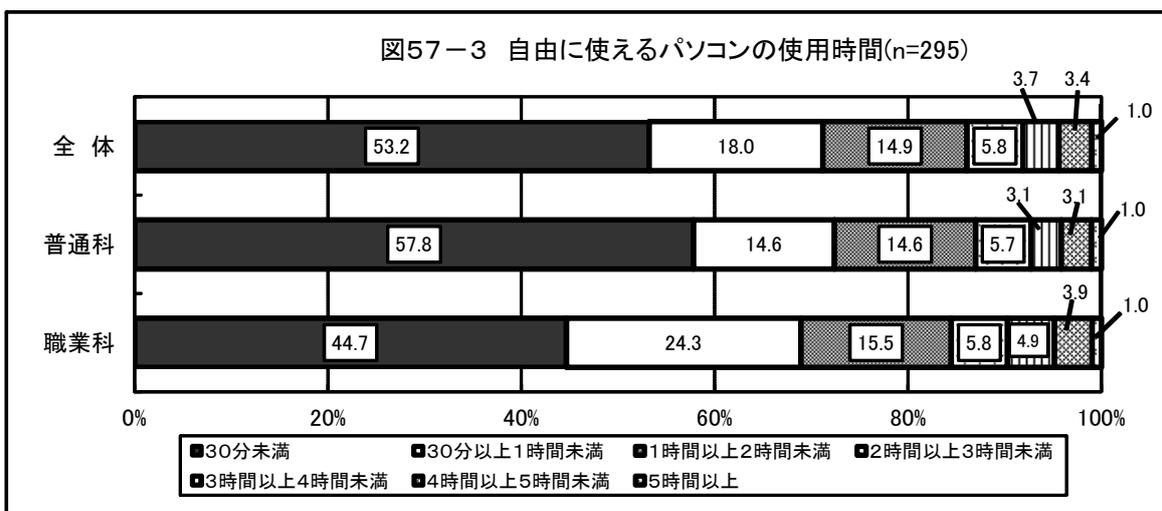
【属性別集計結果】

使用時間について、小学生男女、中学生男女、高校生男女のいずれも「30分未満」の割合が最も高い。



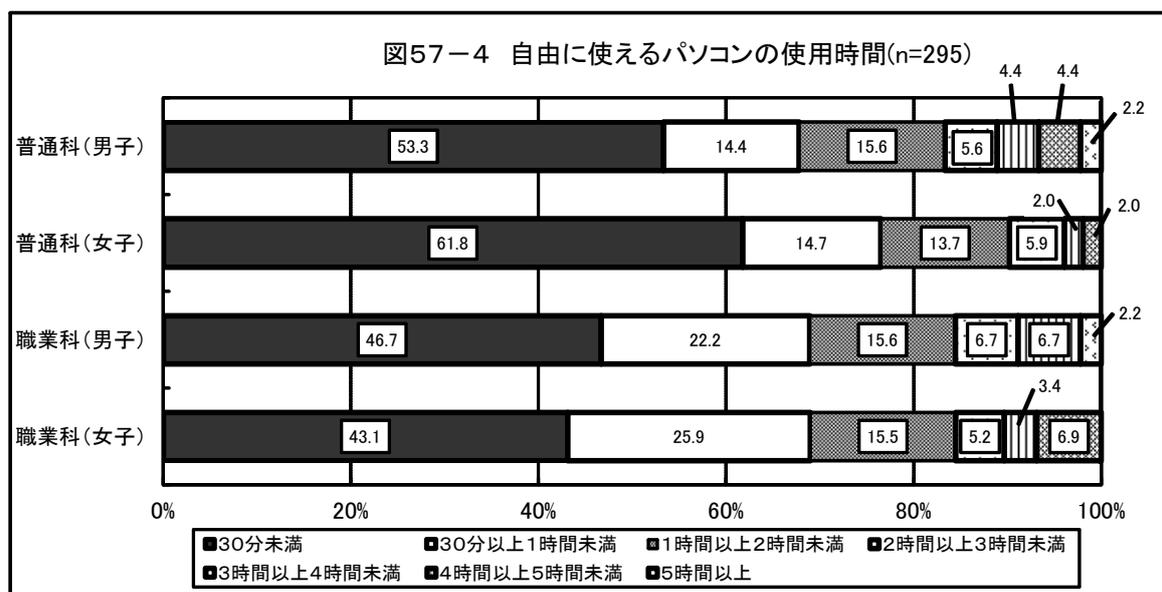
【学科別集計結果】

普通科、職業科のいずれも、「30分未満」(普通科:57.8%、職業科:44.7%)が最も高く、「30分以上1時間未満」(普通科:14.6%、職業科:24.3%)、「1時間異常2時間未満」(普通科:14.6%、職業科:15.5%)。が上位を占めている。



【属性別集計結果】

使用時間について、普通科男女、職業科男女が「30分未満」が最も高い。次に「30分以上1時間未満」(普通科女子14.7%、職業科男子22.2%、職業科女子:25.9%)が高いのに対して、普通科男子は「1時間以上2時間」(15.6%)が高い。



< フィルタリング機能の認知状況(パソコン) >

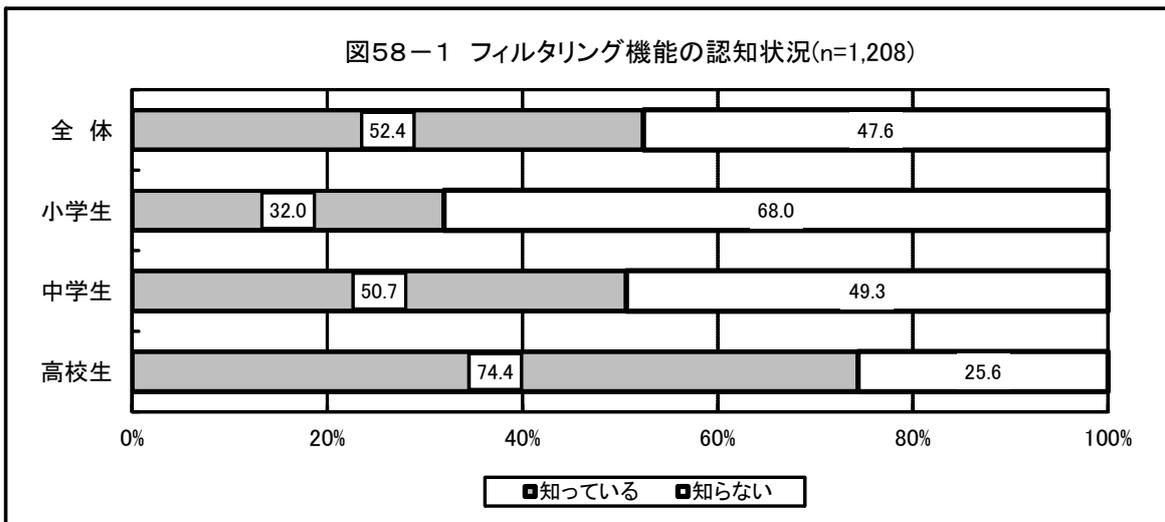
(4) あなたは、パソコンのフィルタリング機能(青少年にとって好ましくないサイトを見られないようにする機能)について、知っていますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

フィルタリング機能を知っているかどうか尋ねたところ、「知っている」が52.4%で「知らない」(47.6%)を4.8ポイント上回っている。

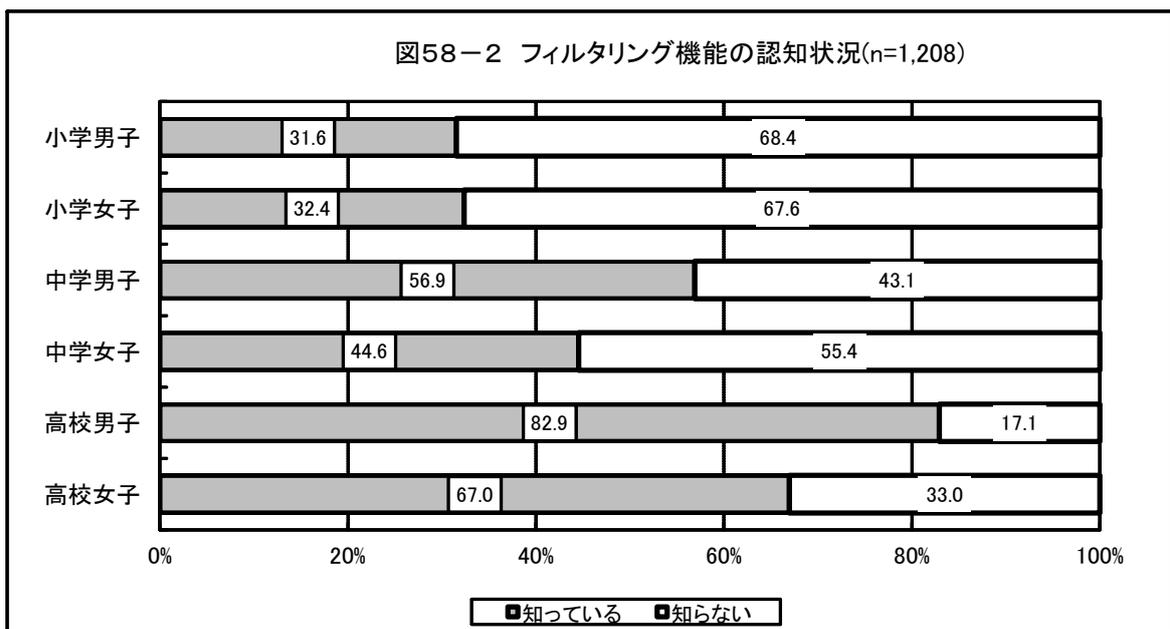
【学校種別集計状況】

「知っている」を見てみると、高校生が74.4%で最も高く、以下、中学生(50.7%)、小学生(32.0%)となっている。



【属性別集計結果】

「知っている」を見てみると、高校男子が82.9%で最も高く、以下、高校女子(67.0%)、中学男子(56.9%)となっている。また、小学生は男女の差がほとんど見られないが、中学生、高校生は男子のほうが女子よりも高い。



< パソコンのフィルタリング機能の利用状況 >

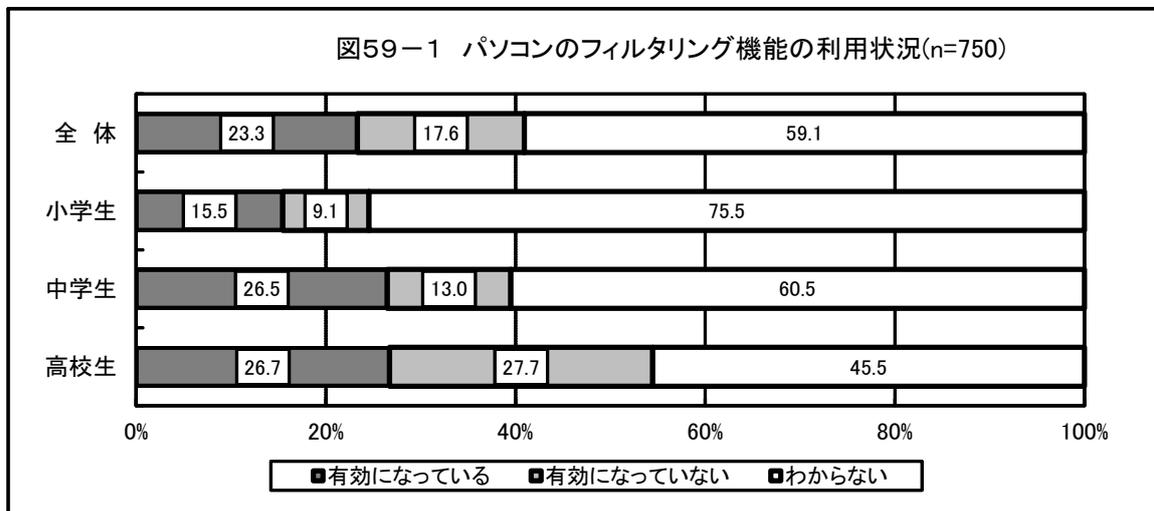
(5)	(1)で「自由に使えるパソコンがある」を選んだ人にお答えください。あなたが使用しているパソコンは、フィルタリング機能が有効になっていますか。1つ選んでください。
-----	--

【全体集計結果】

使用しているパソコンのフィルタリング機能が有効になっているかどうかを尋ねたところ、「わからない」が59.1%で最も高く、以下「有効になっている」(23.3%)、「有効になっていない」(17.6%)となっている。

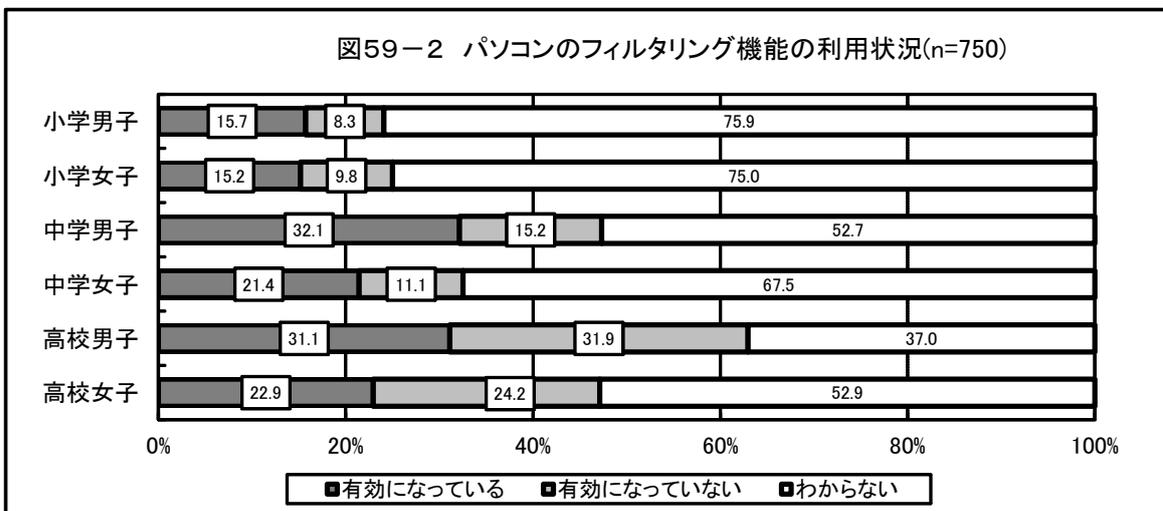
【学校種別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、高校生が26.7%で最も高く、以下、中学生(26.5%)、小学生(15.5%)となっている。一方、「有効になっていない」を見てみると、高校生が27.7%で最も高く、以下、中学生(13.0%)、小学生(9.1%)となっている。また、小学生については、「わからない」が75.5%となっている。



【属性別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、中学校男子が32.1%で最も高い。また、小学女子が15.2%で最も低い。



< 年齢が制限されているサイトへのアクセス状況 >

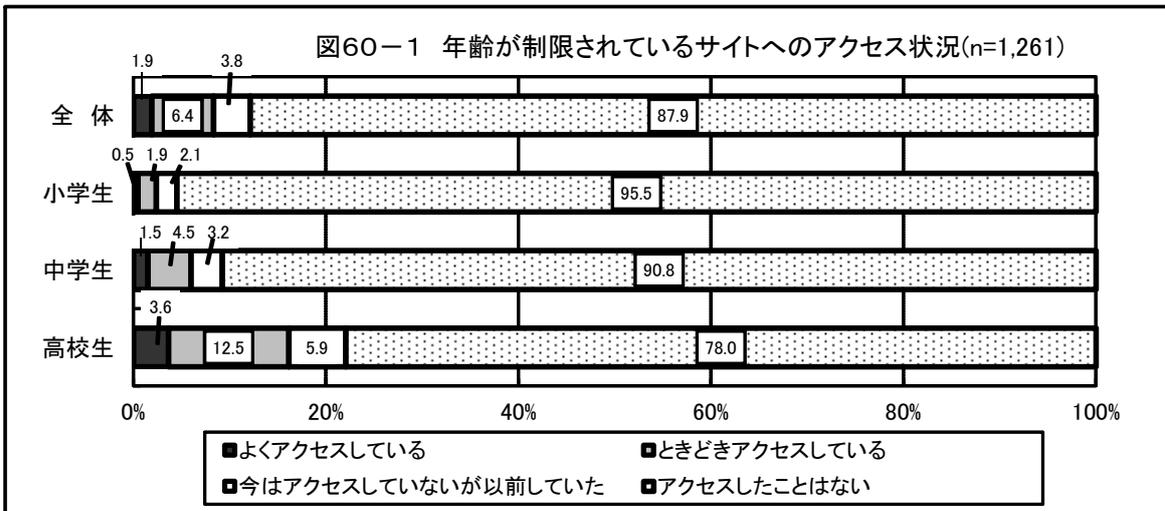
問21(1) あなたは、携帯電話やスマートフォン、パソコンを使って、年齢が制限されているサイトにアクセスしたことはありますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

年齢が制限されているサイトにアクセスしたことがあるかどうか尋ねたところ、「アクセスしたことはない」が87.9%で最も高い。

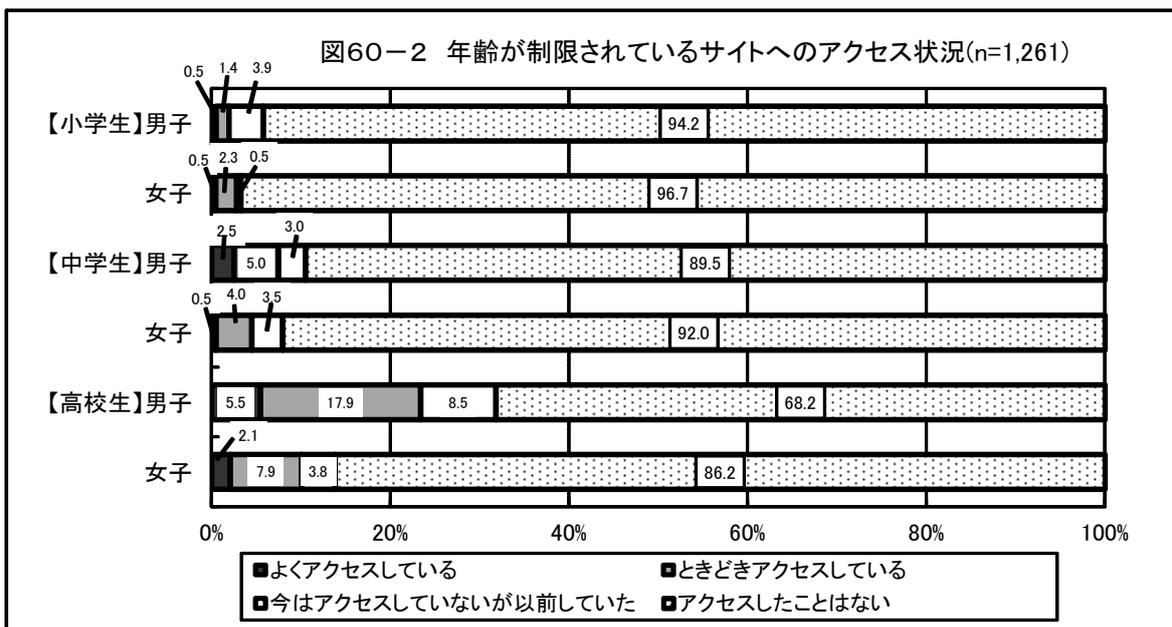
【学校種別集計結果】

「よくアクセスしている」、「ときどきアクセスしている」を合わせた『アクセスしたことがある』を見てみると、高校生が16.1%で最も高く、以下、中学生(6.0%)、小学生(2.4%)となっている。



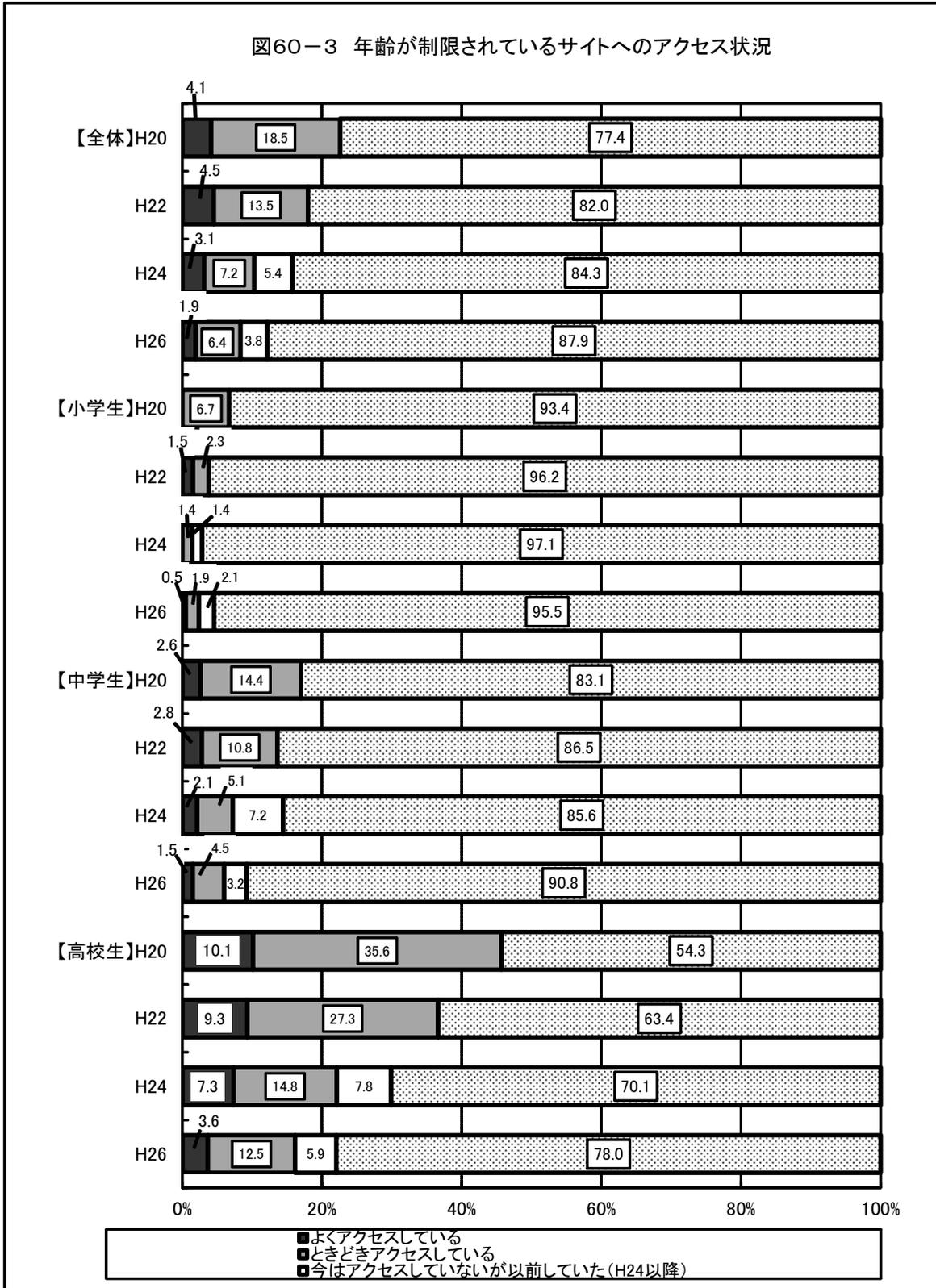
【属性別集計結果】

『アクセスしたことがある』を見てみると、高校男子が23.4%で最も高い。また、中学生、高校生については男子のほうが女子よりも高い。小学生については女子のほうが男子よりも高い。



【時系列比較(平成20年度、22年度、24年度と26年度との調査比較)】

『アクセスしたことがある』を見てみると、小学生、中学生、高校生のいずれも減少してきている。また、平成20～26年度の調査のいずれも高校生、中学生、小学生の順で高い。



< 悪口やいじめにつながる書き込みへの認知状況 >

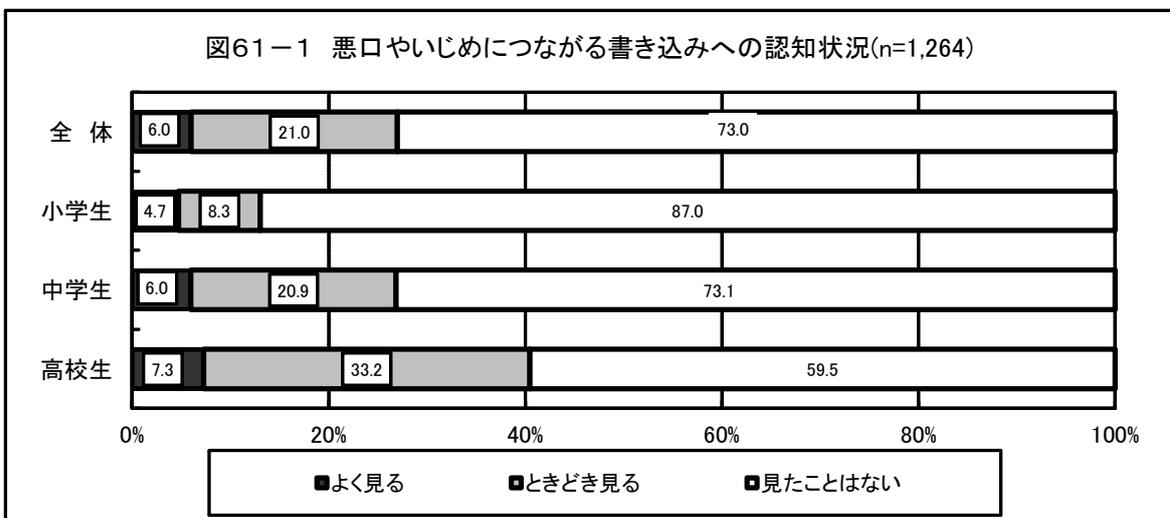
問21(2) あなたは、携帯電話やスマートフォン、パソコンで、悪口やいじめにつながる書き込みを見たことがありますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

携帯電話やスマートフォン、パソコンで、悪口やいじめにつながる書き込みを見たことがあるかどうか尋ねたところ、「見たことはない」が73.0%と最も高い。

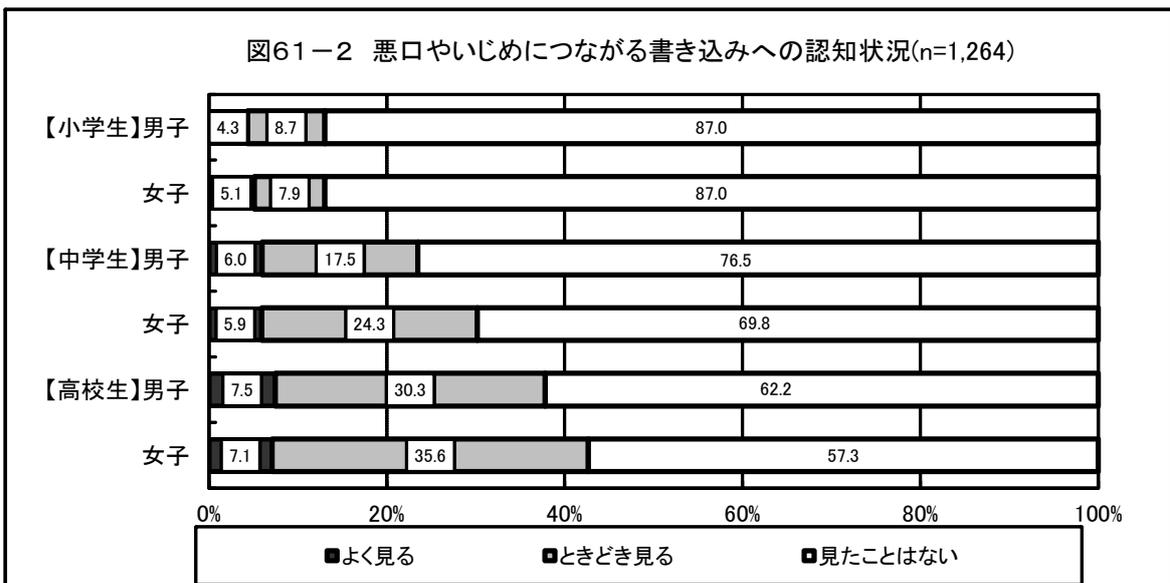
【学校種別集計結果】

「よく見る」、「ときどき見る」を合わせた『見たことがある』を見てみると、高校生が40.5%で最も高く、以下、中学生(26.9%)、小学生(13.0%)となっている。



【属性別集計結果】

『見たことがある』を見てみると、高校女子が42.7%で最も高い。また、中学校、高校生では女子のほうが男子よりも高いが、小学生では男女とも13.0%で同じである。



<ゲーム機や携帯音楽プレーヤーを使ったインターネット・LINE等の利用状況 >

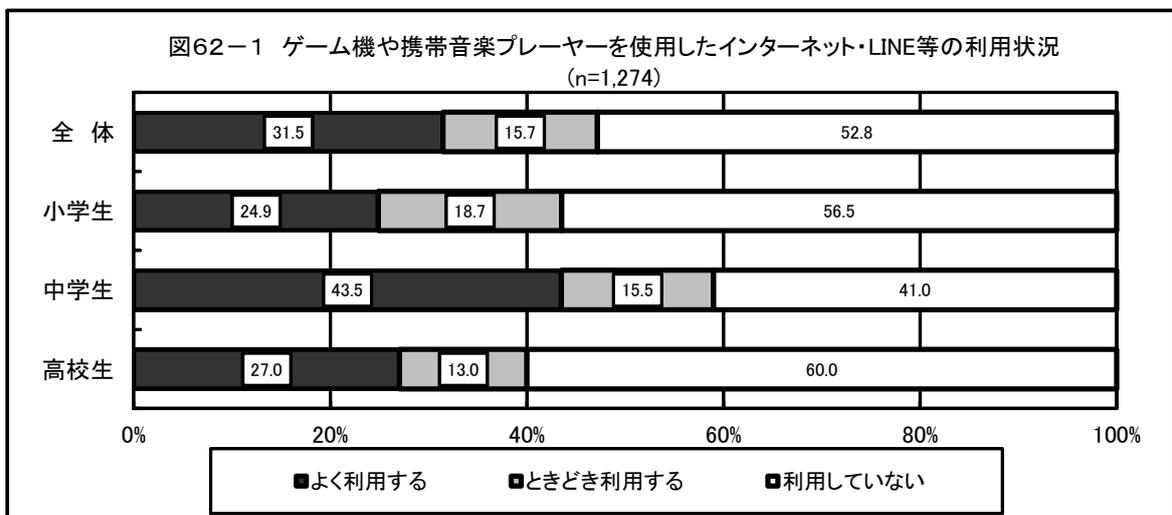
問21(3) あなたは、ゲーム機や携帯音楽プレーヤーを使って、インターネットやLINEなどを利用していますか。1つ選んでください。

【全体集計結果】

ゲーム機や携帯音楽プレーヤーを使って、インターネットやLINEなどを利用しているかどうか尋ねたところ、「利用していない」が52.8%と最も高い。

【学校種別集計結果】

「よく利用する」、「ときどき利用する」を合わせた『利用したことがある』を見てみると、中学生が59.0%で最も高く、以下、小学生(43.6%)、高校生(40.0%)となっている。



【属性別集計結果】

『利用したことがある』を見てみると、中学男子が61.2%で最も高い。また、小学生、中学校、高校性いずれも男子のほうが女子よりも高い。

